

令和5年10月号 VOL.67 企画・編集：特定非営利活動法人 全国学校軽音楽部協会

軽音楽部 Magazine

DIGIRECO.JR

第9回 高等学校軽音楽コンテスト中部大会
2023.8.2
グランプリ
東海学園高等学校
軽音楽同好会
COVER PHOTO

ギター、ベースの音作り 音楽のための「音学」

Event Report 軽音楽部バンドクリニック：栃木県立足利南高等学校／白鷗大学足利高等学校
静岡県立沼津東高等学校

軽音合同演奏会：白山サトヤマカイギ奉納祭
第3回 高等学校軽音楽コンテスト関東大会

読んで学べる実技レッスン・アンサンブル向上委員会・ロック解体新書・ロックな楽典



デジタル版はこちら

ミッション

軽音楽部の諸活動を通して、若い人材を育てる

ビジョン

- ①軽音楽部の学校内外における認知向上を図る
- ②社会や地域貢献を視野に入れた部活動の提案
- ③生徒による自主自立した部活動運営の支援

現在、全国で軽音楽系の部活動が活発に行われ、多くの生徒が軽音楽を通して様々なことを学んでいます。それは軽音楽部の「自主性」や「責任感」の伴う活動が学習意欲の向上につながり、「コミュニケーション（意思伝達）」「クリエイティビティ（創造力）」「チームワーク（協働）」「エンターテインメント（顧客満足）」といった社会で必要とされるスキルを育てることができる部活動であると認知されてきたからだと思います。

私たちは、支援活動を推進するには公平性と中立性を保ちながら、情報公開を通じて広く一般の方の賛同を得ることができる特定非営利活動法人としての活動が望ましいと考え、当協会を設立しました。これまでも、情報誌の発行、大会や合同演奏会の運営支援、大会プログラムの発行、生徒や顧問への各種クリニックや講習会の開催、軽音楽連盟発足の支援などを行ってきました。今後も不特定、かつ多数の公益に寄与しながら、軽音楽を通して青少年の健全な育成を目指していきます。



特定非営利活動法人
全国学校軽音楽部協会

ご支援いただいている特別賛助会員の皆様（敬称略／順不同）

株式会社ミュージックネットワーク
公益財団法人かけはし芸術文化振興財団
一般社団法人サトヤマカイギ
大阪音楽大学
名古屋芸術大学
宝塚大学
日本工学院専門学校
専門学校 ESP エンタテインメント東京
専門学校東京ビジュアルアーツ
専門学校名古屋ビジュアルアーツ

ビジュアルアーツ専門学校
名古屋スクールオブミュージック&ダンス専門学校
ギブソン・ブランド・ジャパン株式会社
フェンダーミュージック株式会社
有限会社エムエージー
Ableton 株式会社
株式会社トップトラベルサービス
株式会社福々家
株式会社サウンドハウス

特定非営利活動法人
全国学校軽音楽部協会
keionkyo.org



■ 1,000 円から
寄付ができます



■ 法人の方は賛助会員
の項をご覧ください



軽音楽部 Magazine

令和5年10月号 VOL.67

■軽音楽部Magazine VOL.67
■創刊：平成25年12月18日（水）
■新装創刊：令和5年3月20日（月）
■発行：令和5年9月20日（水）／第12巻10号通巻67号
■監修・発行／特定非営利活動法人（NPO法人）全国学校軽音楽部協会
〒224-0003 横浜市中区中川中央1-37-6-405
TEL：045-913-0901 FAX：045-913-1900
E-Mail：info@keionkyo.org
■企画・編集／株式会社ミュージックネットワーク



COVER PHOTO 撮影協力

東海学園高等学校 軽音楽同好会（愛知県）

東海学園高校軽音楽同好会は1999年に発足しました。発足当時は8畳程度の物置を部室としていましたが、10年ほど前から、1つの教室を常時使用できるようになりました。しかし、学校の方針で、バンド練習は学外のスタジオを借りて練習することになりました。部員数は3学年で80名です。学内ライブなど、2ヶ月に1回程度、発表する機会があります。パート別練習をいかに活性化させられるかが課題です。

第8回 高等学校軽音楽コンテスト中部大会 グランプリ「センチメンタル過剰」

部活の先輩の弾き語りに衝撃を受け、オリジナルの曲作りに挑戦しました。この曲をアレンジするために各学年のメンバーとバンドを結成し、曲のイメージを共有していく中で、一人ひとりの個性を出していくことができました。大会での演奏を見ていただいた方から「良かったよ」と言っていただいたことが本当に嬉しかったです。

2,030校に無料配布

本誌を配布希望の軽音楽系部活動様は、軽音協事務局までご連絡ください。また、本誌に関するご意見、ご感想、ご質問、取り上げて欲しいテーマ、お悩み相談、イベント案内など、軽音楽系部活動に関する各種情報は軽音協事務局まで…。

TEL 045-913-0901 MAIL info@keionkyo.org

本誌は高等学校軽音楽部以外には配布しておりません。写真掲載に関しては各高等学校の許可を得ています。本誌に記載されている記事の内容や数字などの全部、または一部を無断で複製、引用することを禁じます。利用の際は当協会までご一報ください。

Special Issue

- 16 ギター、ベースの音作り
音楽のための「音学」

Event Report

- 10 軽音楽部バンドクリニック：
栃木県立足利南高等学校／白鷗大学足利高等学校
11 軽音楽部バンドクリニック：静岡県立沼津東高等学校
12 軽音合同演奏会：白山サトヤマカギ奉納祭
14 第3回 高等学校軽音楽コンテスト関東大会

Exercise / Lesson

- 24 読んで学べる実技レッスン
35 アンサンブル向上委員会

Music Theory

- 36 ロック解体新書
52 ロックな楽典

Miscellaneous

- 04 From Chief-In-Editor
05 イベント・カレンダー
06 配布校リスト



マズローの欲求5段階説の最上位

この夏も近畿北陸大会を皮切りに、愛知県大会、中部大会、関東大会と協会が主催する軽音楽部のコンテストの他に、軽音楽学セミナーや合同演奏会などを開催し、多くの軽音楽部バンドの演奏に触れてきました。昨今の軽音楽部バンドの演奏技術の向上は目覚ましく、特にコンテストに於いては、事前審査を経て、ブロック大会に出て来ているバンドばかりですから、演奏やアレンジともに素晴らしく、審査員から「甲乙付け難い」と採点に苦慮する声を多く聞かされました…苦笑。実際、音楽は感覚的なものであり、感覚は個人的なものであり、スポーツと違い、明確に、客観的に、優劣をつけることが難しいです…というか、正確には「できません」。りんごとバナナでフルーツ選手権をしているようなものです。行き過ぎると、糖度計でりんごの優劣を付けてしまうことになりかねません。そういう背景を持つ音楽には「好き嫌い」はあれども「優劣」はありません。しかしながら、部活動の現場にヒアリングしたところ、活動の目標として「優劣の付くコンテストの存在」を求める声が多いのも現実です。学校教育の現場にコンテストの存在意義があり、コンテストの冠名で大会を開催する以上、優劣や順位を付けざるを得ず、感覚的な音楽に客観的な優劣を付けるという自己矛盾を内包しつつ、毎回開催しているのがホンネです。

また、協会ではコンテストの審査基準を「音楽(楽曲)」から「合奏(アンサンブル)」に視点を移すことで評価を客観的にできると考え、審査ガイドラインを設けて、毎回審査員で情報共有をして、各バンドの演奏を評価しております。それでも、それにもかかわらず、結果が審査員によって多少バラつくのは、前述の通り、音楽には「好き嫌い」はあれども「優劣」はない…の一言に尽きます。その視点に立てば、客観的に優劣の付けにくい軽音楽部のコンテストで勝利至上主義に走ることはナンセンスであることは明白です。「勝利至上主義」や「優劣」は心理学者マズローの「欲求5段階説」の4つ目に当たる周囲から認められたいという「承認欲求」です。しかし、軽音楽部のコンテストは、それを1段階高めて「欲求5段階説」の最上位に当たる「自己実現欲求」になります。つまり、自分の表現したいことが十分に実現できたか?という視点です。その視点に立てば、採点は審査員ではなく、自分自身に移ります。そうになると、コンテストでありながら「競う」のではなく、お互いに他人の音楽や演奏を「讃える」ことができるようになるのではないのでしょうか。あれこれ考えると、改めて音楽の素晴らしさを実感します。では、また次号で…。



編集長 三谷佳之

特定非営利活動法人全国学校軽音楽部協会 理事長
日本部活動学会 (JASECA) 理事
株式会社ミュージックネットワーク 代表取締役
mitani@keionkyo.org
Twitter (X) @yoshiyukimitani
Facebook yoshiyuki.mitani



軽音協



軽音楽部 Magazine
VOL.67 電子版



YouTube
チャンネル

イベント・カレンダー



イベント情報は
こちらから
ご覧いただけます



KEIONGAKUBUSEMINAR

軽音楽がセミナー

軽音楽部に関する基礎知識や実技を一挙に学べる

10/7 (土) 愛知県

専門学校名古屋ビジュアルアーツ
オリジナル楽曲制作講座

11/18 (土) 滋賀県

未定

11/19 (日) 京都府

大谷高等学校

11/23 (木) 兵庫県

兵庫県立武庫之荘総合高等学校



GarageBand

iOS (iPhone/iPad) で使える無料のレコーディング/作曲アプリ

完全攻略講座

3時間でわかる!

10/21 (土) 東京都

公益財団法人かけはし芸術文化振興財団

10/22 (日) 大阪府

ビジュアルアーツ専門学校

10/28 (土) 愛知県

専門学校名古屋ビジュアルアーツ



KEIONGODOENSOUKAI

軽音合同演奏会

練習の成果を発表し、他校からも学べる練習試合

9/30 (土) 東京都

専門学校東京ビジュアルアーツ

11/11 (土)・12 (日) 神奈川県

昭和音楽大学

12/9 (土) 愛知県

専門学校名古屋ビジュアルアーツ

PR

中学校軽音楽部・音楽系部活動対象

私立中学校文化連盟軽音楽専門部 2023 年度 活動日程



11月3日 (祝/金) 2023年度 第1回合同ライブ

於：日本女子大学附属中学校

1月7日 (日) 2023年度 第2回合同ライブ

第3回 私立中学校文化連盟軽音楽コンクール

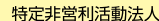
於：中央大学附属横浜中学校・高等学校

お問い合わせ：私立中学校文化連盟軽音楽専門部部長／中央大学附属横浜中学校・高等学校
軽音楽部顧問 重富克史 (MAIL: nirvana@yokohama-js.chuo-u.ac.jp)



この欄に記載されていない高等学校で本誌を希望される場合は、お手数ですが、当協会までご一報ください。また、誌面に対するご意見・ご要望などがありましたら下記までお寄せください。配布に関する費用は一切、かかりません。

TEL : 045-913-0901 / FAX : 045-913-1900 / info@keionkvp.org



全国学校軽音楽部協会

軽音楽部 Magazine VOL. 67 | OCT・2023

[illegible]

デジタル版を見よう！



特定非営利活動法人
全国学校軽音楽部協会

keionkyo.org



軽音楽部バンドクリニック

第114回 栃木県立足利南高等学校 フォーク部
白鷗大学足利高等学校 軽音楽部

〒326-0334 栃木県足利市下波垂町980

〒326-0054 栃木県足利市伊勢南町3-2



第114回目の開催となる今回は栃木県足利市にある栃木県立足利南高等学校を会場にした合同クリニックです。同校に会場提供としてご協力をいただき、白鷗大学足利高等学校との2校で交流を行いました。

開会式で当協会の紹介やクリニックの趣旨を説明し、足利南高校と白鷗大学足利高校の部員や顧問の先生方からも歓迎のメッセージをいただく、当協会の三谷理事長による「部活動としての軽音楽部」に関する座学からスタートしました。

講義の冒頭で「軽音楽部の評判を上げるのに大切なことは何だと思いますか？」「皆さんの学校の中でのフォーク部や軽音楽部の評判はどうですか？」と、部員たちに質問。部活動は学校に認められた「課外授業の一環」としての取り組みであること。また、サッカー部や野球部、吹奏楽部や美術部と同じように「目標に向かって一生懸命に努力し、結果を分かち合う」という部活動に取り組む姿勢や練習の成果を発揮する演奏会やコンテストに挑戦すること。また、軽音楽部の活動で得られるスキル（コミュニケーション、チームワーク、クリエイティビティ、エンターテインメント）など、様々な視点から部活動の在り方を紹介しました。

「音と電気と音響の基礎知識」の講義では、スライドを使用しながらマイクロフォンが音を集音する仕組みやPAシステムの組み方、モニタースピー

カーの役割や中音／外音の違いなどを解説。普段の部活動はもちろん、演奏会やコンテストなどの会場で見ることができる機材も紹介しました。

昼食休憩を挟んで、「全員で取り組むボーカルレッスン」を実施。専門学校東京ビジュアルアーツのボーカル講師であるchika先生が登場し、歌唱前のストレッチや発声する際の体の使い方、腹式呼吸のコツや基礎練習としてのリップロールなどを紹介。実践しながら理解を深めました。

続いて、ボーカル、ギター、ベース、ドラムのパートごとに分かれてのレッスンへと移行。ボーカルは課題曲を用いた歌唱時のポイントを紹介したり、部員からの質問や悩みに1つずつ回答していたほか、ギターはピックの持ち方やギターの構え方、ミュートのコツなどを伝授。ベースはアンプの各つまみの役割とサウンドチェックのポイント、簡単なルート弾きのコツを紹介し、ドラムはスタンドの立て方やスネアのチューニングのコツ、基礎練習としてのスティックコントロールなどに全員で取り組みました。

最後は代表バンドによるアンサンブルのクリニックです。白鷗大学足利高校は米津玄師の「ピースサイン」を、足利南高校はオリジナル曲を披露し、各パートの講師が今後につながるアドバイスやメッセージを伝えました。その後、2回目の演奏を披露し、どのバンドも短時間のうちに成長が見られるなど、実践を通して学ぶことができました。



▲足利南高校にて開催。2019年以来的の訪問になりました



▲部活動としての軽音楽部の在り方や心構えについて紹介



▲ボーカルレッスンの講義では、全員で発声練習に挑戦



▲代表バンドが講師や部員たちの前で演奏を披露しました

顧問の先生の声

部員たちは今日をととても楽しみにしていました。栃木県までお越しいただき、感謝しています。専門家の先生方から教わる機会がないため、今日は新鮮なことばかりで、顧問の私も勉強になりました。講義の内容を共有し、今後の活動につなげていきたいと思います。近隣校とのつながりもできたので、積極的に交流していきたいです。

軽音楽部バンドクリニック

第115回 静岡県立沼津東高等学校 ギターアンサンブル部

〒410-0011 静岡県沼津市岡宮812



第115回目の開催となる今回は静岡県沼津市にある静岡県立沼津東高等学校を訪問。1901年に静岡県立沼津中学校として開校した静岡県の公立高校で、県下でも特に広い敷地を有しています。部活動も盛んで、陸上競技部をはじめ、フェンシング部やボート部、競技カルタ部や新聞部は東海総体や全国大会の出場権も獲得しています。

開会式で講師陣の紹介やクリニックの趣旨を説明し、ギターアンサンブル部の部長や顧問の先生からも歓迎のメッセージをいただくと、早速、当協会の三谷理事長による「部活動としての軽音楽部」に関する座学からスタート。部活動に取り組む姿勢や練習の成果を発揮する演奏会やコンテストに挑戦すること。また、軽音楽部の活動で得られるスキル（コミュニケーション、チームワーク、クリエイティビティ、エンターテインメント）など、様々な視点から部活動の在り方を紹介しました。

第2部は辻副理事長による「音楽理論講座」です。コードの成り立ちやメジャーとマイナーの違い、王道のコード進行パターンやJ-POPを中心とした例題曲の紹介など、スライドや鍵盤を使用しながら解説。今後はオリジナル曲の制作にも取り組んでいきたいとのことで、熱心にメモを取ったり、講義後に質問に来る部員の姿がありました。

昼食休憩を挟んで、午後は「アンサンブルが良くなる練習方法」に関する座学です。普段、何気なく行っている練習を「個人練習」「バンド練習」「ライブ練習」の3つに分類し、目的を明確にしながら取り組むことで、成果がまったく異なることを解説。特に部活動で、メンバーが集まって取り組む際は個人練習ではなく、バンド練習や本番に向けたライブ練習を行うべきであり、目標設定や振り返りを行う時間も大切であると述べました。また、演奏する際はメンタルの共有も重要で、演奏曲の歌詞や世界観をメンバー間で共有するのはもちろん、積極的に意見交換をしたり、「皆で合わせよう！」という意識を持ちながら演奏するなど、「練習はミーティングです」と、辻副理事長が解説しました。

後半は代表バンドによるアンサンブルのクリニックです。SHISHAMO やヨルシカ、aiko や10-FEET、あいみょんや優里のコピー曲を披露し、演奏後に総評やアドバイスを伝授。「全員でリズムを取り、特にドラムがスネアを叩くところ…2拍目と4拍目でノレるようになると、さらにグルーブが出て、アンサンブルにまとまりが生まれるので、ぜひ意識してみてください」「演奏に関しては十分にできているので、今後はメンバーでアイコンタクトを取ったり、体を動かしながら演奏するなど、見た目にも楽しめる演奏を目指してください」など、今後につながるアドバイスやメッセージが伝えられました。



▲課外活動の一環である部活動の在り方や心構えなどを紹介



▲音楽理論の講座ではコード進行の成り立ちをゆっくり解説



▲練習を個人・バンド・ライブに分けて取り組みましょう



▲各バンドが演奏を披露し、アドバイスを授けました

顧問の先生の声

顧問の私も勉強になるテーマばかりで、特に部活動としての軽音楽部の在り方は共感するものばかりでした。アンサンブルのレッスンは、どのバンドにも当てはまる課題が中心で、講評の前後でガラリと変わっていたのには驚きました。生徒たちの目もキラキラと輝いていたので、これを機にますます部活動を盛り上げていきたいです。

第34回 軽音合同演奏会 ～白山サトヤマカイギ奉納祭～

2023年8月25日(金)、26日(土)、27日(日)



夏休みも終盤の8月25日～27日。石川県白山市にある白峰にて「白山サトヤマカイギ奉納祭」が開催され、当協会は石川県近郊の高校軽音楽部を集めた「軽音合同演奏会」を同イベントにて実施しました。

「白山サトヤマカイギ奉納祭」とは、自然の循環を感じ、すべての物事に感謝して、日本人の得意とする「ツナグ」精神を学ぶイベントで、一般社団法人サトヤマカイギが主催しています。今年の5月に霊峰白山が「ユネスコ世界ジオパーク」に認定されたことから、霊峰白山を祝う奉納祭を開催する運びとなったそうです。同イベントでは「自然」に向き合い、自然を中心とした活動を体験することができ、白山登山をはじめ、夕陽や日の入の鑑賞、「能」の見学や「君が代」の献歌などが行われました。

時刻は朝9時30分。金沢駅から大型バスに乗って、白峰に向かいます。市内から30分ほど進むと次第に山々が近くなり、のどかな田園風景が見えたかと思うと、あっという間にバスは四方が山々に囲まれた道を進み、白峰へ。出発から90分ほどで最初の目的地に到着しました。

最初のイベントは「林業体験」です。ヘルメットを着用し、林の入口に進みます。今回は株式会社白峰産業の皆さんにご協力をいただき、森林や樹木のこと、林業の仕事や伐採方法などを詳しくご紹介いただきました。特に印象に残っているのは、伐採には「皆伐」と「間伐」があり、無闇に森

林を伐採し、環境破壊等の行為を行っているのではなく、山や居住地域のことを考えた上で伐採をしていること。伐採の際は苗木も植えており、何十年後の日本も緑が豊かな国土であるように、との願いを込めて、仕事に従事している旨が伝えられました。レクチャーが終わると、いよいよ杉の木の伐採見学です。職人さんがチェーンソーを使って、倒したい方向へ切り込みを入れた後、反対側からも切り込みを入れたところに杭を打ち、ハンマーでジワジワと杭を打っていくと、バキバキバキ！と割れるような大きな音を立てながら、ドン！と倒れました。その衝撃と音量に唖然としてしまい、声が出ないのはもちろん、拍手もバラバラ…苦笑。初めての体験で、貴重な光景を目にすることができました。また、質疑応答タイムでは林業の仕事や木材のこと、仕事のやりがいや苦労話など、現地でしか聞けない話をたくさん伺いました。

続いて、演奏会場である林西寺に移動し、加藤住職にご挨拶。楽器や機材を搬入すると、白峰の地域や自然にまつわる話、阿弥陀様や白山下仏山にまつわる講和を聴講。とても勉強になり、見聞を広めることができました。昼食では、そばろ丼(25日)や猪肉を使用したジビエ丼(26日)、木滑なめこを使用したなめこ丼(27日)をいただくと、白峰で生活している方々のご協力のもと、「北番」と「南番」という2手に分かれて、地域を散策。雪がたくさん降る地域

である故の住宅や神社仏閣の構造や、かつての生活スタイルの名残、特徴的な屋号など、地元の人からしか聞けないお話をたっぷりと聞かせていただきながら、45分ほどの散策を行いました。

さて、後半はいよいよ合同演奏会です。各バンドが「自然」や「結びつき(縁)」や「感謝」などをテーマに演奏を披露。演奏を聴きにきた地元の人々に楽しんでいただき、温かい拍手や労いの言葉をいただくなど、大いに喜んでいただけたのが印象的でした。

中でもユニークだったのは、2日目(26日)に行われた、石川県立内灘高等学校軽音楽部(民謡部門)と桑島民謡保存会・遊邦会による合同演奏です。「こきりこ節」と「花笠音頭」の2曲を三味線と歌、太鼓、踊りを交えて演奏し、聴衆も身振り手振りで踊ったり、口ずさむなど、大いに盛り上がり、初めて出会った高校生と地元の方々が音楽を通じて、心を通わせ、演奏を披露するなど、音楽が持つ力を垣間見ることができました。

合同演奏会の閉会式では、引率の顧問の先生方や林西寺の加藤住職、当協会の三谷理事長から総評や挨拶があり、軽音合同演奏会は滞りなく終了しました。音楽は年齢や性別、住んでいる地域は関係ありません。誰でも楽しむことができる共通言語であり、一緒に楽器を奏でることもできる素晴らしいコンテンツです。また白峰の方々に演奏を聴いていただき、高校生も見聞を広めてもらいたいと感じた3日間になりました。



▲時刻は9時30分。金沢駅からバスで白峰に向かいます



▲出発進行！道中は車窓から見える景色を楽しみました



▲チェーンソーを使用した伐採を見学。大迫力でした！



▲林業体験では森林や伐採に関する講義を受けました



▲演奏会場の林西寺にて加藤住職の講話がありました



▲地元の方々に白峰の良いところや特徴などを伺いました



▲散策では白峰の特徴的な家や屋号などを見て回りました



▲かつて使用されていた「みんじゃ（水屋）」もあります



▲演奏会では、地元の方々の多くにお越しいただきました



▲本堂にドラムやアンプ類を置いて、特設ステージを設営



▲昼食では猪のお肉を使用したジビエ丼をいただきました



▲2日目には遊邦会の方々と民謡の合同演奏も行いました



▲白山サトヤマカイギ奉納祭は最終日の弓取り式で閉会



▲弓取り式を務めた時津風部屋出身の将豊電関との1枚

【主催】一般社団法人サトヤマカイギ 【協力】NPO 法人全国学校軽音楽部協会・株式会社白峰産業

【後援】北國新聞・白峰観光協会・NPO 法人白峰まちづくり協議会

【参加校】金沢学院大学附属高等学校・遊学館高等学校・石川県立内灘高等学校・石川県立津幡高等学校・岐阜県立斐太高等学校

令和5年度 第3回

国立オリンピック記念青少年総合センター 主催：特定非営利活動法人全国学校軽音楽部協会／公益財団法人かけはし芸術文化振興財団
後援：文部科学省、日本工学院専門学校、日本工学院八王子専門学校、専門学校東京ビジュアルアーツ／ギブソン・ブラuns・ジャパン株式会社

高等学校軽音楽コンテスト関東大会



令和5年8月24日 国立オリンピック記念青少年総合センター 大ホール

残暑厳しい令和5年8月24日、第3回目となる高等学校軽音楽コンテスト関東大会が第1回、第2回に引き続き、国立オリンピック記念青少年総合センター大ホールにて開催されました。

開会式では、主催者の代表として登壇した当協会の三谷理事長から「本来、音楽に優劣をつけることはナンセンスなのかもしれません。五段階欲求説によると、人間は生理的欲求から安全欲求、社会的欲求、承認欲求、自己実現欲求へと段階的に欲求を満たそうとするそうです。順位を争うことが承認欲求だとすれば、今日はその先の自己実現できたか、普段の練習の成果が披露できたかを自分たちで評価してみてください」との言葉があり、続いて公益財団法人かけはし芸術文化振興財団の山東昭子理事

長が登壇し、「不安定な気候の中、皆さん本大会に向けて練習を重ねてきたことと思います。お互いの演奏を目や耳から吸収することも今後の活動に重要です。刺激を受けてまた頑張る気持ちが高まるでしょう。そしてその経験は将来必ず役立つことと思います」と激励しました。

今大会は、東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、茨城県、栃木県、群馬県、山梨県から予選を勝ち抜いた25バンドが出演します。定刻通り大会がスタートすると、各バンド個性豊かな演奏を披露し、例年以上にレベルの高い大会となりました。

全バンドの演奏終了後、閉会式では審査員から総評があり、「非常に混戦でした。1拍の長さ、1小節の長さをはじめ、いろいろなものを『共有』できているかがキーワ

ードだったように思います」「演奏後には、うまくいった、失敗した、もっとこうしておけば…などの思いがあると思います。そうやって振り返ることも成長への良い機会です」「音楽、歌詞、気持ちを伝えよう、表現しようとしていたバンドが多かったと思います。今回体験したことや感じたことを今後に活かしてください」との言葉がありました。

総評後は各プレーヤー賞、グランプリ他各賞の発表、表彰状とトロフィーや記念メダルの授与が行われ、記念撮影の後、今大会は幕を閉じました。今年度から、当協会主催の近畿北陸大会、中部大会、そしてこの関東大会の実績が認められ、文化庁の後援をいただくことができました。今後も部活動としての軽音楽を通した青少年の育成を支援していきたいと思っています。

【大会結果】	グランプリ	法政大学高等学校／The Bee's Knees
	準グランプリ	千葉英和高等学校／ash
	第3位	中央大学杉並高等学校／alba
	奨励賞（第4位）	千葉県立東葛飾高等学校／テンポルバート
	奨励賞（第5位）	茨城県立竹園高等学校／黎明
	奨励賞（第6位）	東海大学付属浦安高等学校／The High Cut

■主催：特定非営利活動法人全国学校軽音楽部協会／公益財団法人かけはし芸術文化振興財団
■後援：文化庁
■特別協賛：日本工学院専門学校／日本工学院八王子専門学校
専門学校東京ビジュアルアーツ／ギブソン・ブラuns・ジャパン株式会社

■参加：青山学院横浜英和高等学校、栃木県立足利南高等学校、茨城県立竹園高等学校、埼玉県立熊谷西高等学校、法政大学高等学校、神奈川県立麻溝台高等学校、東京都立足立新田高等学校、東海大学付属浦安高等学校、埼玉県立豊岡高等学校、神奈川県立藤沢総合高等学校、群馬県立玉村高等学校、千葉県立東葛飾高等学校、茨城県立日立第一高等学校、埼玉県立川越西高等学校、東京都立文京高等学校、千葉県立高等学校、高崎商科大学附属高等学校、中央大学杉並高等学校、豊島岡女子学園高等学校、日本大学明誠高等学校、神奈川県立厚木高等学校、千葉県立佐倉高等学校、駒澤大学高等学校、神奈川県立市ケ尾高等学校





バンド名：The Bee's Knees (ザビーズ ニーズ)

学校名：法政大学高等学校 音楽部

曲名：ダーウィンに告ぐ (オリジナル曲)

オリジナル曲である楽曲の歌詞やメロディ、アレンジなどもとても優れた作品に仕上がっていましたが、個々の演奏力、表情やステージング、コーラスやキメのアンサンブルなど、どれも完璧でした。何よりもメンバー全員のテンション感が同じだったことが全体の一体感につながっていたのだと思います。テンポ、グルーブ、ダイナミクスのコントロールや表現がしっかりとしていたので歌詞がより伝わってきました。メンバー各自がボーカルを意識して演奏できていたので、演奏にブレがなく安心感がありました。演奏、センスともに素晴らしいステージでした。



ボーカル／ギター：八木つぐみさん

3年生なので、今年度はたくさん大会に出て1つひとつを大切に取り組んできました。バンドのオリジナルは11曲ほどあって、作詞・作曲は私なのですが、この曲は全員で歌詞の内容やアレンジ、ステージでの見え方などを共有して作りあげました。1年生の7月から同じメンバーでやってきて、いろいろ試行錯誤をしながら曲やバンドができています。このメンバーだったからこそこのグランプリだと思います。



ギター：飛田直哉くん

この夏に出た大会ではなかなか1位を獲れなかったんですが、今回グランプリに選んでいただけてとても嬉しいです。たくさん練習して、いくつか大会に出て…という経験があって集大成になったのかなと思います。ギターのアレンジはギターが2本あるので、八木さんの作ってきた曲調や雰囲気に合わせて足し算引き算をしています。毎回テイストの違う曲を作ってくるので合わせていくのは楽しいです。



ベース：江崎結翔くん

これまでみんなでやってきた中で、この夏に向けて一番長く取り組んだ曲なので、グランプリが獲れてめちゃくちゃ嬉しいです。ドラムと一緒にキメを合わせるところとかが多いのでしっかりとすること、ボーカルを邪魔しないようルート弾きを中心にちょっとしたフィルを入れるようにしました。O.G.O.B.の方々に音作りなどもみてもらって、低音の厚みを出すように心掛けました。



ドラム：末岡南美さん

大会で1番を取るって本当に難しいんだなと感じていたんで、今回はとても嬉しいです。場慣れしていたというのもあるかもしれませんが、積み重ねてきた練習をここで発揮できたと思います。八木さんが作るドラムパターンはいつもとてもかっこよくて、こういう雰囲気になりたいんだなというのがわかります。もう少しで引退なのですが、今のすごく良い状態のまま続けていきたいと思います。



バンド名：ash (アッシュ)

学校名：千葉英和高等学校 軽音楽部

曲名：カストル (オリジナル曲)

息の合った演奏でした。ソロ後の長いクレッシェンドや染葉さん(ボーカル／キーボード)の最後のロングトーンなど、ダイナミクスがとてもよく演奏できていて、ドラマチックなパフォーマンスが圧巻でした。特に印象的だったのはパワフルでグイグイくる8ビートのグルーブで、聴いていて自然と体が動いてしまいました。リズムの縦の線が合ったタイトな演奏と楽曲に合ったパフォーマンス、シンプルなコード進行の上で情熱的に歌い上げるボーカル…。まさに全員で勝ち獲った賞といえます。他の楽曲も聴いてみたくなるような良いバンドでした。



バンド名：alba (アルバ)

学校名：中央大学杉並高等学校 音楽部

曲名：やかましい (オリジナル曲)

趣向を凝らしたアレンジで完成度の高いオリジナル曲を演奏してくれました。ボーカルやベースのエフェクトも効果的でしたが、アンサンブルの合い方は個々のスキルだけではなく、ダイナミクスやパフォーマンスの練習を重ねてきた証拠でしょう。リズムが難しいアレンジでしたが、バンド全体でしっかりとキープできていました。ステージ中音のバランス取りにもう少し気をつけるとさらに良くなるでしょう。歌詞、メロディ、アレンジも高レベルでしたが、1コーラスでドラマが完結してしまっていた感じが惜しかったように思います。



ギター、ベースの音作り 音楽のための「音学」

軽音楽部のバンド演奏やライブを見ていると、個々のテクニックやアンサンブル能力は高いのに、残念ながら「音が良くない」ということが結構あります。せっかく練習したプレイやアンサンブルも、出ているサウンドがそれらに見合っていないければ、もったいないどころかマイナスになってしまうこともあります。

中でも、エレキギターやエレキベースの音は楽曲の印象を大きく左右します。しかし、音作りは機材や音に関する知識も必要なため一筋縄ではいきません。まずは興味を持つことが大事ですが、漠然とした「良い音作りへの旅」は謎や疑問も多いもの。バンド演奏をするのであれば避けては通れない音作りについて、「知っておきたい基礎」「知っておくべき基礎」を学びましょう！

そもそも「良い音」って何？

音楽も会話も街の雑踏も、小鳥のさえずりもすべて「音」です。生活圏や自然界には様々な音があり、音を聞き分けることは生きていく上での大切な能力です。その「音」を意識的に操作して作り出し、声や楽器を使って表現するのが「音楽」です。良い音楽を演奏するためには「音」についての理解が必要です。

「良い音」の定義

よく、「良い音を出すにはどうしたら良いですか？」といった質問を受けます。その探究心や向上心に精一杯応えてあげたいと思うのですが、毎度返事に困ってしまいます。なぜなら、「良い音の定義」は人それぞれだからです。こうしてみたらとアドバイスしてできた音を、質問者が同じように良い音だと思うかはわかりません。音楽の専門家が言うのだからきっとこれが「良い音」なのだろう…と、ある意味思い込んでいるだけかもしれません。「これは年代物の何百万円もするギターだ」との情報を知っているか知らないかでは、感想も変わるような気がしませんか。

どこか田舎の、木々が風に揺れる音や虫の声しか聞こえないような静寂を多くの人は「良い音」としていますが、都会に生まれ育った人にとっては、静かすぎて怖い、落ち着かない…と思うこともあるそうです。幼稚園児や小さな子供たちの声を朗らかで良いと思う人もいれば、騒がしい雑音と捉える人もいます。爆音で鳴る車や飛行機のエンジン音に感嘆する人もいれば、誰かの咀嚼音を聞くのが好き(ASMR)という人もいます。

「良い音」とは人それぞれで違い、定義などないのです。あるとすれば、より多くの人が良いと言っているからというマジョリティ性だけかもしれません。

「好きな音」が「良い音」に

突然ですが、ラーメンで例えてみましょう。今では様々な味のラーメンがありますが、その中で「好きな味」「美味しい

と思う味」はあっても、「良い味」はありません。それはきっと「自分にとって良い味」ということでしょう。音楽も同じです。良い音とは「好きな音」とほぼ同義語です。自分がラーメン屋の店主として、どんなに周りがあのレストランは不味いと言われても、自分が美味しいと思うのであればそのラーメンは自分にとって「良い」ラーメンなのです。しかし、その味が独りよがりなだけだと、周りから認められないこともあるでしょう。理想的なのは自分が良い(好き)と思うものを周りの人も同じように良いと思ってくれることです。自分の感性を信じながら、常に周囲との差と向き合って探究していくことが大切です。

音楽は自己表現の場でもあります。自分で考えたフレーズであれコピーであれ、奏でられた音はすべて表現のためのピースの1つです。芝居と同様、同じセリフでもどんな声でどんな言い方をするのかによって表現は大きく変わります。最初の質問も「こういう音が好きで、出したい」と言われれば、アドバイスをしていく方向性が見えてきます。まずは自分の中に「好きな音」があることが重要なのです。

有名店のラーメン屋は、常に味への探求を続けているはずで、ラーメン屋を開業しようという人は、多くのラーメン屋を食べ歩いたり自分の好きな味の店に弟子入りしたりしています。プロのミュージシャンも、新しい音楽、新しい機材に常にアンテナを張り、テクニックを磨き、

「良い音」への模索を続けています。音楽をする者にとって良い音の探究には終わりがありません。皆さんも、まずはたくさん音楽を聴いて、たくさんの好きな音や演奏していて気持ち良い音を見つけてください。

良い音の条件は「バランス」

再度ラーメンで例えると、好みはあっても丼一杯の作品と考えれば、スープ、麺、具材のバランスが取れていることも美味しさの条件です。有名店の極端に辛い、濃い、脂っこい、具が山盛り…といった個性的な一杯も、多くの人を魅了しているわけですから、それぞれきちんとバランスが取れているはずで、

音作りの場合も、ギターやベースといった楽器本体、アンプ、エフェクターなどをバランス良く使うこと、そして、バンドの中で調和の取れた音作りを目指していくことが大事です。良い音を出すための絶対的な条件、それは「バランス」です。出したい音を自分で作れるようになるには、まず音に関する知識や楽器についての一般的な知識を身につけていく必要があります。



▲人の好みはそれぞれ。自分の「好き」を見つけるための探究心が最も大切

バンドの中での「良い音」

バランスの取れた「良い音」作りの際に考えなければいけないのは、音楽は歌や複数の楽器が混ざり合って1つの音になっているということです。アンサンブルとしてチューニングや音量に気を配るように、お互いが出している音色にも注意し合う必要があります。音作りは、楽器の音色を自分の好みにしていくだけではなく、トータルでどんなバンドサウンドにするのかを全員で決めていく作業でもあります。どんなに好きな音が作れたとしても、バンド全体の中で聴いた時に良くなければ「良い音」とはいえません。

また、音の聴こえ方や響き方は練習場所やライブ会場の環境によっても大きく変わります。1度作ったものが絶対的な完成形ではありません。微妙な変化に対応できるスキルも身につけましょう。

帯域を考えた音作り

音は空気の振動です。その振動の周波数の高低幅のことを「帯域」といいます。楽器にはそれぞれ得意な帯域（音域）があり、高音域（Hight、約1kHz以上）、中音域（Middle、約400Hz～1kHz）、低音域（Low、約400Hz以下）に分けて考えられますが、歌や和音など楽曲の核となるものは中音域に集まっています。

同じ帯域の音が同時に発音されると、音（空気）の波が互いに干渉し合って聴こえにくくなります。いわゆる「音の抜けが良くない」状態です。トーンコントロールや特定の帯域だけを抑えることができるイコライザー（EQ）、ドラムのチューニングなどで

調整していくと、各楽器の音がクリアに聴こえやすく抜けが良くなります。演奏の核となる中音域のパートがそれぞれきちんと聴こえるように整理して音作りをすること、そして、それを活かす高音域と低音域を作ることがバンド全体の音作りに最も大切なことです。

ポピュラーミュージックで主に使う各楽器の音域は下図の通りです。楽器は倍音や可聴できない帯域の周波数も同時に発生させているので本来はもっと幅広いのですが、主な音域は図のようになります。倍音とは音を出した時に同時に発生する整数倍（100Hzなら200Hz、300Hz…）の周波数のことです。元の音（基音）に比べて音量が小さいので気づきにくいかもしれませんが、倍音同士がぶつかり合うこともあるので音作りには欠かせない要素です。

中音域の整理

バンドのメインはボーカルです。ボーカリストの声質や楽曲のスタイルに合わせ、音（声）を打ち消さないように、歌と歌詞が聴こえるようにすることがバンドの音作りの基本です。ギタリストやキーボーディストが複数いるバンドでは、その数が多ければ多いほど中音域の整理は難しくなっていきます。常にお互いの出す音に気を配りながら自分の音を作って

いきましょう。

また、忘れがちなのが同じく中音域の楽器スネアドラムのチューニングです。常に同じ音で鳴り続けるスネアの居場所

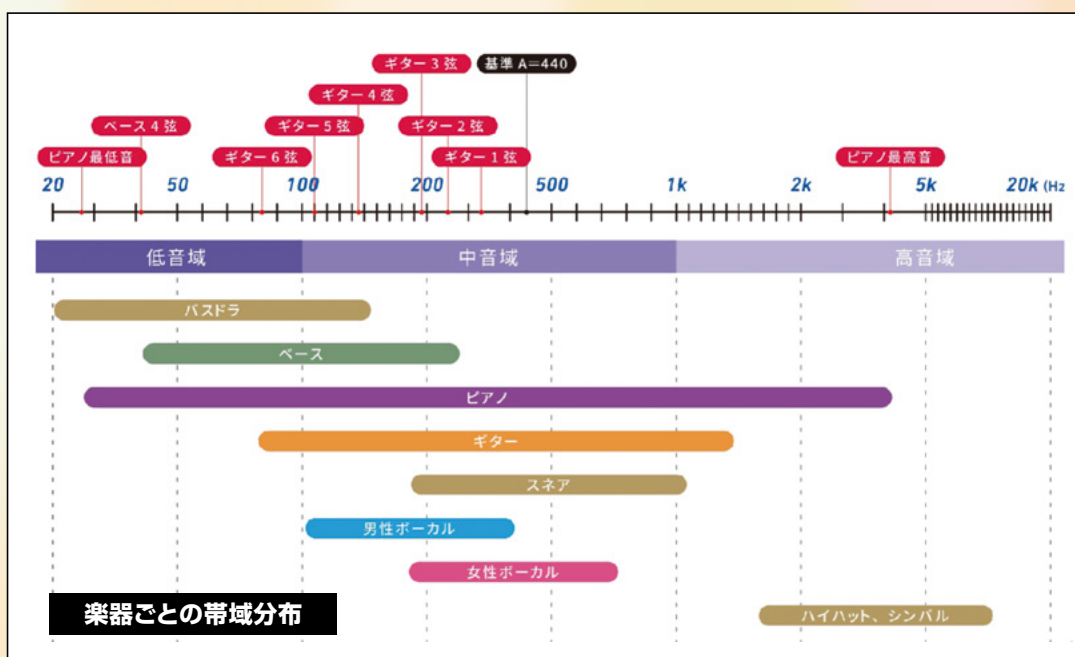
低音域の整理

低音域が豊かなサウンドだと、バンドの演奏がよりまとまって聴こえます。ベースとバスドラムの棲み分けがメインですが、ピアノの左手の低音なども注意しなければいけません。考え方としては、最も下の音域にどの楽器を持っていくかを決めていくと方向性が決まっていきます。

また、激しいロックな楽曲などの場合、ギターの低音域が大きく出ているとラウドな感じにはなりますが、ベースとの棲み分けなどに注意が必要です。

高音域の整理

高音域は、帯域の相殺よりもトータルとしてどのくらい高音を響かせるかの方が重要です。高音域がクリアだと演奏全体が明るくなり、絞られていると全体的にこもったサウンドになります。しかし、高音域の出し過ぎはキンキンして全体が軽くなってしまいます。どんなスタイルの楽曲であっても、質の良い高音域で作られているサウンドが理想です。



ギター、ベースの音作りの流れ

アコースティックギターは弾かれた弦の振動がボディ自体で共鳴して音が聴こえる仕組みです。しかし、エレキギターやエレキベースはそのままでは音が出ません。電気楽器はその名の通り「電気を使って音を出している」ということが理解できれば、音作りについての理解も増していくでしょう。

音作りも楽器演奏の楽しさの1つ

エレキギターやエレキベースは、本体だけではなくアンプやエフェクターといった機材を駆使して音を作っていく楽器です。少し難しそうな電気や機械の知識が必要になるため、なかなか興味が向かないという人も多いようです。また、フレーズを間違えないように弾くことに夢中（精一杯）でそれどころではない、といった話もよく耳にします。

しかし、アコースティック楽器と違い、エレキギターやエレキベースはもともと本体とアンプがセットになって1つの楽器として成立している楽器です。とはいえ、ベースは極端なことをいえば、本体のトーンコントロールのつまみは全部フル（10）にして、アンプもボリューム以外のトーンコントロールは真ん中の「5」を基本にしておけば平均的な音は出ます。実際のアンサンブルに合うかは別ですが…。

一方、エレキギターはベーシックなバッキングの音を作るだけでも「歪み加減」「トーン」「残響」などを考えなければいけなく、リフやソロなどの他、イントロとAメロとの違いなど、セクションによる音

色の切り替えも多いパートです。エレキギターはそれらすべての音作りや調整が必要なので少しやっかいな楽器ではありますが、実はそこが他の楽器やアコースティックギターと大きく違ったエレキギターの面白さでもあり、最大の魅力なのです。

ギターほどではありませんが、現代ではベースの音色変化も一般的です。楽曲ごとに、あるいは曲の中で音色を変えたりソロで目立つ音色にしたり…といったことも珍しいケースではありません。

音そのものや音作りに興味を持つことでギタリスト、ベーシストとして表現力が向上するだけではなく、エレキギターやエレキベースを使って音楽を奏でること自体がさらに楽しくなるでしょう。

エレキギター、ベースの仕組み

本体に搭載されている「ピックアップマイク」が弦の振動を拾い、電気信号に変換してシールドケーブルによってアンプに送られます（近年はワイヤレスも一般的になってきました）。アンプはその信号を増幅し、再び空気の振動に戻して出音しているわけですが、いわゆる「音作り」はその間で行う作業です。

すなわち、エレキギターやエレキベースは楽器本体、ギターアンプ、その間につなげるエフェクターによって音作りをすることが前提の楽器なのです。



シールドや弦の種類でも音は変わる

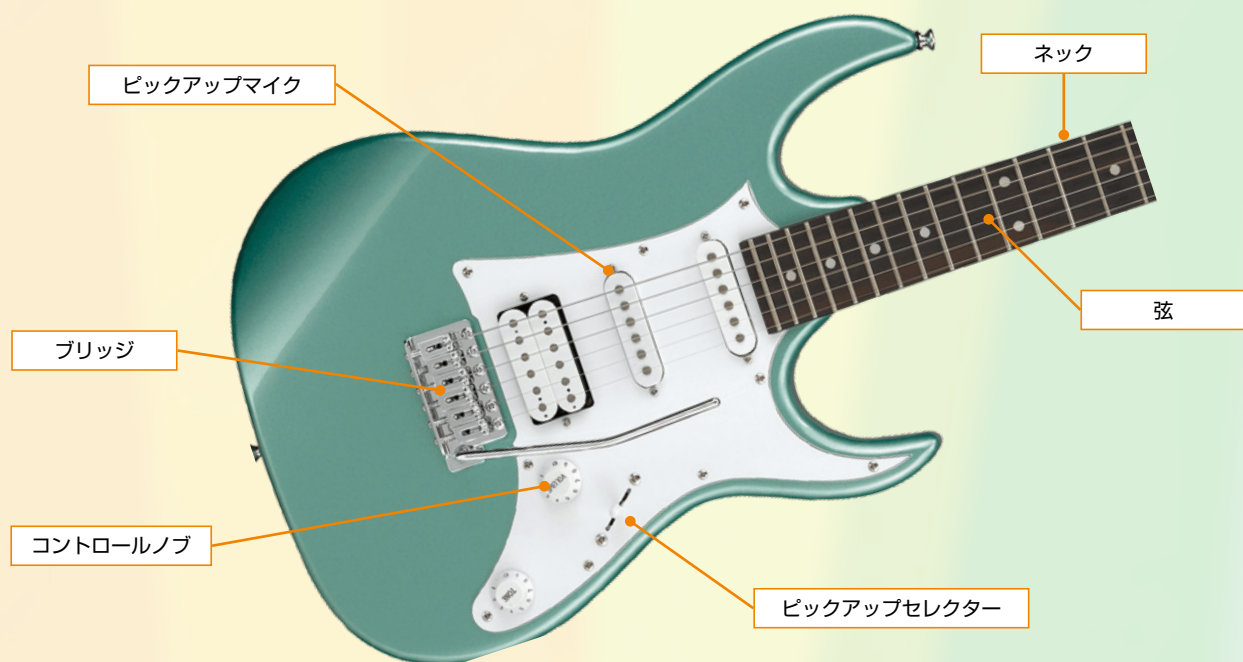
厳密にいえば、シールドケーブルの種類、弦の素材や使用度、ピックの種類、弾き方（ピックの強弱や位置）、その他ギターの木材や部品によっても音は変わります。しかし、専門家ではない限り、市販されている一般的なものであれば聴感上さほど違いはわかりません。

とはいえ、シールドや弦はあまり廉価なものとは避け、ピックは大きさや硬さなどをいろいろ試してみてください。さらには、楽器の個体差でも微妙に違いがあります。愛機を理解して上手に付き合ひましょう。



▲周辺備品にも興味を持ってみよう

ギター、ベース本体での音作り



ピックアップマイク

ギターやベースには、ピックアップマイクが通常2～3つ搭載されています。一般的に、ブリッジ側を「リア」、ネック側を「フロント」と呼び、3つ搭載されている場合は、真ん中を「センター」と呼びます。

音色は、リアが最も強く歯切れが良く、ネックに近くなるほど丸く柔らかくなります。輪郭のある明るい音を出したい時はリア、クリーンで優しい音を出したい時はフロント…というように、アンプやエフェクターで音を加工する前にセレクターでピックアップを選択します。

代表的なピックアップの種類には、幅広い音作りに向いている「シングルコイル」と、太くパワーのある音が特徴的な「ハムバッカー」があります。中には両方のタイプが搭載されていたり、より歪みやすいタイプが搭載された機種もありますが、まずは自分の愛機のピックアップのキャラクターを知っておくことが重要です。

コントロールノブ

ギターやベース本体には、ピックアップの音量と音色を調節する「VOLUME」と「TONE」というツマミ（コントロールノ

ブ）が付いてます。しかし、VOLUMEを絞ると出力が下がってエフェクターの効果が弱くなり、TONEを絞ると高音域が削れてこもった音になります。

上級者にもなれば、コントロールノブを上手に使うことでサウンドにバリエーションがつけられるようになりますが、慣れないうちや、手元で多様なサウンドメイクが可能なアクティブタイプの楽器ではない限り全開にしておく方が無難です。

ピッキング

ギターやベースは弦を弾（はじ）いて音を出します。ギターは主にピックを使いますが、ピッキングの仕方や強さでも音は変わります。ベースは指弾きやスラップ奏法なども一般的ですが、楽曲によって、あるいはポイントで使い分けたりします。

いずれにしても、ピックアップ同様、ネック側で弾けば柔らかく、ブリッジ側なら硬めのサウンドが得られます。最終的に出音は弾き手の「腕」にかかっているので、練習を怠らないようにしましょう！



▲ギターやベースの心臓部「ピックアップマイク」。シングルコイル（左）とハムバッカー（右）タイプ

アンプでの音作り

アンプの種類とインプットの選択

ギターやベースで弾いた音を増幅させる「アンプ」には、大きく真空管（チューブ管）を使って増幅させるタイプと、トランジスタを使っているタイプに分かれます。後者には現在、様々なアンプの特性を再現できる「モデリング」「プロファイリング」という技術を使ったアンプもあります。チューブアンプは本体だけで暖かな歪みサウンドが得られるため好んで使用する人もいますが、エフェクターによる音作りが一般的になってきた現代では、音作りの土台となるクリーンサウンドが綺麗なトランジスタアンプが主流です。

アンプには複数の入力端子がある場合があります。ギターやベースからの入力信号の大小や、クリーンかドライブかなど、用途によって使い分けることができます。また、「センド／リターン（エフェクトループ）」端子が付いている機種であれば、リターン端子につなぐことでエフェクターで作った音色や音量をそのままアンプの

スピーカーで出すことができます。

トーンコントロール

一般的なアンプにはいくつかのトーンコントロールノブが付いています。高音域を調節する「Treble（トレブル）」、中音域を調節する「Middle（ミドル）」、低音域を調節する「Bass（ベース）」、総音量を調節する「Master（マスター）」です。

アンプによってはさらに下表のような調節ができます。「PRESENCE（プレゼンス）」は上げると音の輪郭がはっきりしますが、上げすぎると線が細く音がギラギラしてしまいます。「RESONANCE（レゾナンス）」はうまく使えば音をヘヴィにしてくれますが、低音の音の分離が悪くなってしまうこともあるので、こちらも上げすぎには注意が必要です。

BRI（ブライトスイッチ）	Treble よりもさらに上の高音域を強調する
PRESENCE（プレゼンス）	高音域の音質を調節する
RESONANCE（レゾナンス）	低音域の音質を調節する
GAIN（ゲイン）	楽器からの入力音量を調節する

また、「Gain（ゲイン）」は楽器からの入力音量をコントロールするツマミで、上げると歪んでいきます。ベースの場合は上げすぎると必要以上に音が歪むことがあるので気をつけましょう。

エフェクト

ギターアンプやベースアンプには、音を加工する「エフェクター」機能が付いている場合もあります。機種によって様々ですが、例えば「ディストーション」や「ドライブ」といった歪み系から、「リバーブ」「ディレイ」「トレモロ」「コーラス」「フェイザー」などがあり、アンプだけである程度音を作ることができます。

トライ＆エラーで、とにかく触ってみることから始めましょう。※効果は次ページのエフェクトの項を参照してください。



▲ Marshall JCM2000
チューブアンプで、アンプ部とスピーカー部が分かれたスタックタイプ



◀ フロントパネル。まずツマミを真上（時計の12時）に上げておいて音量を上げ、微調整する



▲ リアパネル。ラインアウトやフットスイッチの入力もある



◀ Roland JAZZ CHORUS 120
トランジスタアンプで、アンプ部とスピーカー部が一体化したコンボタイプ

エフェクターでの音作り

音を加工する

電子楽器を使って演奏したり音楽を作るポピュラーミュージックでは、楽器本体とアンプだけでは出せなかった音を作ることにも可能です。特に、独立した外部機器「エフェクター」は、楽器やバンドの音作りには欠かせないツールです。

一般的に何のエフェクトもしていない音のことを「クリーントーン」といいます。正確には温かみがあったりガラガラしたりとクリーントーンにも種類がありますが、ギターやベース本体とアンプのトーンコントロールで作られたクリーントーンの「原音」を加工したり、アンプで作ったサウンドにプラスアルファして各楽器のサウンドメイクをしていきます。

しかし、音作りは本体やアンプ、ピックアップなども関わってくるものです。機材の総合的な知識と経験が大切です。残念ながら誌面では各エフェクターの実際の音を紹介することはできません。インターネットでは動画共有サイトをはじめ、メーカー、楽器店、ミュージシャンが参考動画をいろいろアップしています。気になったものを検索してみてください！

歪み（ひずみ）系：音を歪ませてワイルドなサウンドにする

オーバードライブ	あえて出力過多させるイメージ。アナログな優しく暖かみがあるオールマイティな歪み
ディストーション	音を機械的にゆがめたイメージ。ラウドな楽曲に似合う荒々しく硬質な歪み
ファズ	強引に音をけば立たせたイメージ。爆発的で過激な歪み

空間系：音に奥行きを出して広がりのあるサウンドにする

リバーブ	空間による音の残響効果を出す。大きなホールや教室など広さを調整できる
ディレイ	やまびこのような音の反響効果を出す。タイミングや反響音の大きさも調整できる

モジュレーション系：音を揺らして印象的なサウンドにする

コーラス	原音に約 0.01 秒遅らせた音を混ぜて揺らす。透明感やリバーブとは違う広がりが出る
トレモロ	音量を上下させて揺らす。断続的な音が独特の残響感を出す。ステレオで左右に振ることも可能
フェイザー	原音に位相のズレた（逆位相）の音を混ぜて揺らす。シュワシュワした音が特徴

フィルター系：周波数帯を操作して音を変化させる

イコライザー	特定の周波数帯を加減させて音を変化させる
ワウ	高音域を断続的に制御してサウンドを変化させる。足で操作するワウペダルもある

ピッチシフト系：音の高さ（音高・ピッチ）を操作して音を変化させる

オクターバー ハーモナイザー	原音にオクターブ違いの音や任意の音程が違う音を重ねて厚みを出す
ワーマー	原音のピッチを自由に变化させる。足で操作するワーマーペダルもある

エフェクターの種類

近年ではエフェクターを使った音作りが主流になっています。その方が幅広い音作りができ、様々なジャンルや演奏環境に対応することができるからです。軽音楽部の活動には、エフェクターの定番「コンパクトエフェクター」や、高性能な「マルチエフェクター」がお勧めです。

コンパクトエフェクターは基本的にアナログ回線で、1台で1つのエフェクトを行います。マルチエフェクターはデジタル回線で、複数のエフェクターが1台

の中に搭載されています。再度食べ物で例えると、ハンバーグやエビフライなど好みのメニューを単品で頼むか、ミックスグリルのような様々なおかずがワンプレートになっているか…に近いかもしれません。どちらにも捨てがたい部分やメリットがあるので、どちらを選ぶかは自分次第です。使用している先輩に話を聞いたり、使い勝手、サウンドの好み、コスト、持ち運び時のことを考えながら決めていきましょう。



コンパクトエフェクター

コンパクトエフェクターは、主にアナログ回線なこともあり、音に暖かみがあって根強い人気があります。また、それぞれの効果をツマミで直感的に操作できること、必要に応じて使用するものだけを組み合わせることができることは大きなメリットです。違うメーカーの好みのエフェクターをつなげられるのも嬉しいポイントです。

しかし、複数台つなげる場合は音の劣化やノイズの発生に注意が必要です。例えば、空間系のエフェクターは必ず歪み系のエフェクターの後につなげることが原則です。前につないでしまうと同時に使った時に音が濁って

しまいます。さらにいえば、1台ずつ独立しているためエフェクター同士をつなぐ「バッチケーブル」や集中電源などの追加備品が必要だったり、ノイズの発生時や音が出なかったりした時の原因究明に時間がかかりがちな



◀ BOSS Blues Driver BD-2
クランチな歪みからハードな歪みまで多彩なオーバードライブが人気
市場価格: ¥11,000 (税込)

ことなどがデメリットとして挙げられます。

コンパクトエフェクターは、こだわりが強い上級者向けにも感じられますが、歪み系を1台持っているだけでも音作りやソロを弾く時のブーストに効果大です。



▲ TECH21 SANSAMP BASS DRIVER DI
プリアンプやDIの用途もあるベース用歪みエフェクターの代表格
市場価格: ¥39,800 (税込)

マルチエフェクター

機種にもよりますが、一般的なマルチエフェクターにはデジタル化された数十から数百のエフェクターサウンドが1台に搭載されています。また、近年のマルチエフェクターには、アンプシミュレーターが内蔵されていることがほとんどなので、トランジスタアンプにつないでもチューブアンプをはじめとした様々なアンプサウンドを作ることができます。

マルチエフェクターで作ったサウンドは本機内に保存しておくことができ、楽曲ごと、セクションごとの切り替えが素早くできるこ

とが演奏をスムーズにします。しかし、逆にできることが多すぎたり、ほとんどを液晶画面で操作していかなければならないため、使い方に慣れていないと大変…というところが難点です。

ヘッドフォン端子が付いているので、自宅で

の練習や音作りも可能なところが大きなメリットの1つです。他にもメトロノーム、ドラムマシン、USB端子なども搭載していることがほとんどなので、多機能すぎて初心者には敬遠されがちですが、逆にオールインワンなマルチエフェクターの方が初心者にお勧めです。



◀ BOSS GT-1
Guitar Effects Processor
通常のマルチエフェクターの機能にプラス、様々な音色をダウンロードできる
市場価格: ¥24,200 (税込)



読んで学べる 実技レッスン

ボーカル ⑥ ボーカルの表情のつけ方・3

STEP1：歌詞の世界観に合った感情表現…

STEP2：発声のコントロールによる感情表現…

Tips：マイクの距離で音量をコントロール！



ギター ⑥ もうワンランク上のバックングを目指す

STEP1：シンプルなバックング・パターンにこだわる

STEP2：ツイン・ギターでのバックング・コンビ…

Tips：エフェクターでバックングのバリエーション…



ベース ⑥ ベース・ラインやベース・ソロの作り方

STEP1：ペンタトニック・スケールを覚える

STEP2：プラス・アルファのベース・テクニク

Tips：民族音楽のスケールで世界を旅する

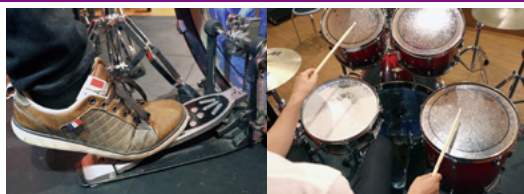


ドラム ⑥ バス・ドラムでワンランク上のドラミングを目指す

STEP1：バス・ドラムのダブル

STEP2：バス・ドラムをからめたフレーズや…

Tips：キック・ペダルを調整しよう



キーボード ⑥ プラスαで輝ける鍵盤プレイ

STEP1：キーボードのグリッサンド

STEP2：ベンド & モジュレーションを使った奏法

Tips：「ネコふんじやった」に隠された秘密





ボーカル ⑥

ボーカルの表情のつけ方・3

どんなスタイルの歌い方にも求められるボーカル・テクニックが「感情表現」です。音程の正確さや発声の技術といった基礎的なテクニックだけではなく、「歌詞の世界観に合った感情表現」や「声の強弱による感情表現」を身につけることによって、ロック、ポップス、R&B など様々なジャンルに役立ちます。(文・伊丹谷良介)

STEP 1

歌詞の世界観に合った感情表現のテクニック

ボーカルの感情表現のつけ方の中でも、歌詞の世界観に合った表現のテクニックは大変重要です。特に、初心者の方のボーカリストは歌うことに精一杯になって、ついメロディーを単調に歌ってしまったり、正確な音程で歌うことだけに集中してしまいがちです。歌詞の世界観を声の音色の違いや強弱、音量の大小で細かく歌い分け、抑揚をつけることで感情が聴き手により伝わります。

それらの歌唱テクニックをブラッシュ・アップさせることで、歌の表現力を一気に高めることができますが、ボーカルの基礎である「正しい発声」や「リズム・キープ」をしっかり練習していないと、せっかくの表現力も効果が薄くなってしまいます。基礎練習と共に、感情表現のテクニックを身につけていきましょう。

歌詞を朗読する

まず、自分が歌う楽曲の歌詞を黙読して、しっかりと歌詞の世界観を自分なりに理解しましょう。歌詞の意味を十分に理解したら、次に少し大げさなくらいの「喋り口調」で朗読します。この時、お経のように淡々と歌詞を朗読するのではなく、喋るように抑揚をつけて、テンション高く感情を高ぶらせて読んでみてください。すると、普段の会話では意外と声に抑揚をつけて喋っていることに気づきます。メロディーを無視して喋るよう

に歌詞を読んでみると、無意識に弱く読んだり、強く読んだり、速く読んだり、遅く読んだり、笑った顔で読んだり、怒った顔で読んだり…と、自然に感情表現が生まれ、自分なりに喜怒哀楽を感じながら抑揚をつけて読み上げられるはずです。朗読した自分の声を録音して、どんな風に自分が抑揚をつけているのかを聴き返してみるとよくわかると思います。

コピー曲でもオリジナル曲の場合でも、独自の「歌詞カード(ノート)」を作ることはとても効果的です。自作の歌詞カードに細かく感情表現のメモを書き込んで、それを見ながら歌うことで、自然と歌に世界観と表現力がついていきます。それぞれ感じたまま、自分なりに抑揚をつけて歌ってみましょう。

自分の歌を録音してみる

細かい感情表現をコントロールできるようにするには、まず自分の歌い方を知ることが大切

です。自分が歌っている声を何度も録音して客観的に聴いてみましょう。自分の歌声に聴き慣れていないうちは少し抵抗があるかもしれませんが、何度も聴いているうちにすぐに慣れてきます。録音したものを聴き返して、「もっとここは強く歌いたい」「もっとここは優しく歌いたい」「この歌詞の母音を強くしたい」「この歌詞の語尾でビブラートをかけたい」…など、思ったことを歌詞カードにどんどん書き込んでいきましょう。次に歌う時に、そのメモの内容を注意して歌うようにすることで上達が期待できます。

既存曲のボーカルをコピーする場合、そのボーカリストがどういう風に歌っているのかを細かく聴き込むことも大切です。「上達はモノマネから始まる」という人もいるぐらいですから、原曲を何度も部分的にリピート再生して、歌い方を参考に真似してみるのも良い練習になります。最近では、再生スピードを変えられるスマートフォンの無料アプリもたくさんあるので、音楽や歌の研究のために使ってみるのも良いでしょう。



写真 1～3 歌詞を喋り口調で読み上げ、手を使い、できるだけオーバー・アクションで感情を高ぶらせて読んでみよう

STEP 2

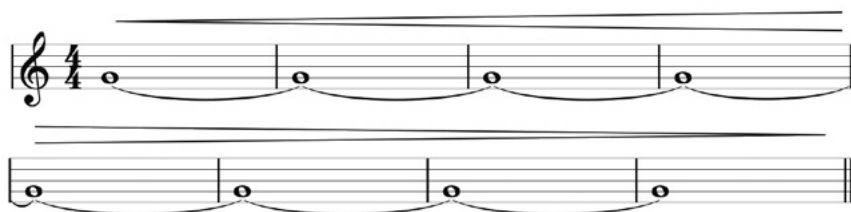
発声のコントロールによる感情表現のテクニック

感情表現からの基本的な「抑揚をつけること」ができるようになったら、同時に「発声の強弱によるコントロール」を行えるようになることも目指しましょう。発声の細かいコントロールをするには、音の高低や長短をコントロールする他に、「音量の大小によるコントロール」を行う方法があります。

声の大きさをコントロールする

メロディーの動きに関係なく声の音量に変化をつけることは、歌に表情をつけるためにとても重要なことです。音量をコントロールすることで、歌の抑揚に磨きがかかります。

練習方法としては、まず自分が発声しやすい音程で構わないので、同じ音程のままロング・トーンをクレッシェンド（だんだん大きく）したり、デクレッシェンド（だんだん小さく）したりと、音量に差をつけて発声してみてください。例えば、「あー」という発声を、無音の状態からクレッシェンドで徐々に大きくしていく、最大音量までいったらそのままデクレッシェンドでだんだん小さくしてみましょう（譜例 1）。



譜例 1 メトロノームを使ってゆっくり目のテンポで好きな音程でやってみよう。プレスはせず一息で行おう

ポイントは、音量に綺麗なグラデーションをつけてコントロールできるようにすることです。メトロノームを使い、テンポや小節数を決めて規則的にできるように練習してください。

初心者の場合、低い音程は声が小さく、高い音は声が大きくなる傾向があります。いろいろな音程で行って、低い音程を大きな音で発声したり、高い音程を小さく発声する練習も行ってください。声の表現力が増します。

強弱をコントロールする

声に強弱をつけるには、主に「①声に癖をつけて歌う発音の強弱」「②リズムのアクセントに合わせる強弱」「③ボリュームの強弱」の3種類があります。まずは、楽曲が持つグルーヴをよく聴き分けて、全体的なリズム感を掴むことが基本ですが、①から③の組み合わせを細かく意識して歌うことで、音楽的な「強弱の感覚」がより敏感になり、表現力の高い歌を歌うことができます。

図 1 を参考に、歌詞カードに「ppp、pp、p、mp、mf、f、ff、fff」などといった音量の大小



写真 4 音量調整中も常に腹式呼吸での発声を心がけよう

を細かく書き込んで、それを見ながら歌ってみたり、他にもアクセント、または歌い方や発声のキャラクターなどをメモ書きのように記入しておくことも効果的です。

ボーカリストにとって大切なのは、歌に気持ちを込めるというメンタルな部分と、歌うという「発声」の技術力を両方高めることです。人に伝わる表現力が身につきます。

■歌詞カードに強弱の記号を書き込もう！

ppp	ピアノニッシモ	非常に弱く
pp	ピアノニッシモ	ごく弱く
p	ピアノ	弱く
mp	メゾピアノ	やや弱く
mf	メゾフォルテ	やや強く
f	フォルテ	強く
ff	フォルテッシモ	ごく強く
fff	フォルテッシモ	非常に強く
>	クレッシェンド	だんだん強く
<	デクレッシェンド	だんだん弱く

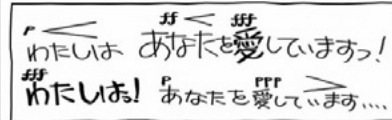


図 1 歌い方の強弱の構想を練ることも表現の第一歩

Tips!

マイクの距離で音量をコントロール！

テクニックとして、マイクと口の距離で声のボリューム調整をすることができます。マイクとの距離や角度を考えないで歌ってしまうと、結果的に出力される声にバラツキが出て、聴いている人には心地良くない音量になってしまいがちです。例えば、低い音程の A メロは口をグリルと密着するくらい近づけて歌い、B メロでは指 1 本か 2 本分くらいの距離をあけ、声を張り上げるサビでは拳 1 つ分く

らい離して歌うなど、マイクに入力される音量を口との距離で安定させる練習もしておきましょう。

マイクの響きは言葉の母音と子音によって変わるので、慣れてきたら言葉に合わせてマイクの距離の変化をつけてみるのも良いでしょう。自分の好きなバンドや歌手を参考に、どれくらいマイクの距離をとって歌っているのかなどをぜひ研究してみてください。



▲マイクの使い方も大事な「技術」です



ギター ⑥

もうワンランク上の バックングを目指す

単音ピッキングやストロークは、共に「オルタネイト」が基本であることは既に意識していることと思います。しかし、オルタネイトでのピッキングができていればすべて OK というわけではありません。実は、そこからが本当の意味でのバックングをマスターするスタート地点なのです。バックングに必要なリズム、ニュアンス、アプローチの仕方をもう少し掘り下げてみましょう。(文・岩尾徹)

STEP 1

シンプルなバックング・パターンにこだわる

1つのパターンが延々と続くようなバックングは、繰り返し練習をすることで徐々に弾けるようになってくるとは思いますが、「カッコ良く弾く」となると意外に難しいものです。それは、弾くことがシンプルだけに音以外の要素がとても重要になってくるからです。その部分を意識して練習すれば、もうワンランク上を目指することができます。

リズムの表と裏を意識する

バックングは、もちろん1曲を通してリズムがブレないようにキープすることが最も重要ですが、1つのフレーズを弾く中でも意識していなければいけないことがあります。それはリズムの「裏拍」を感じることです。リズムには「表」と「裏」と呼ばれる拍があり、音楽にとってとても重要なものです。メトロノームを4分の4拍子と捉え、「ワン、ツー、スリー、フォー…」と言葉にして繰り返します。これが「表の拍」です。そこに、ダンスなどでリズムを取る時に使われる「エン(and)」を間に入れていくと、「ワン、エン、ツー、エン、スリー、エン、フォー、エン…」となります。この「エン」の部分が「裏の拍」です。ギターを演奏する時に裏拍を感じながら弾けるようになることが、グルーヴのあるバックングにつながっていきます。

譜例1を、はじめは8分音符でメトロノームを鳴らし、だんだん表拍の音量を下げたって、最終的には裏拍だけで弾けるように練習していきましょう。その状態でリズム自体がキープで

きることも大事なので、4分から5分、1曲分ぐらいの長さを1クールとして繰り返しましょう。裏拍のみで弾くことが難しい場合は、メトロノームを4分音符で鳴らして裏拍を手で叩き、まずはその感覚を掴んでみると良いでしょう。

「空(から)ストローク」の入れ方

「空ストローク」とは「ブラッシング」とも呼ばれる、休符の部分での「オルタネイト・ストローク」のことを言います。フレーズ全体のリズム・キープをするためのとても重要な動作ですが、その部分をどう弾くかによってフレーズ自体のニュアンスが変化します。オルタネイト・ストロークでしっかりとバックングが弾けていれば、フレーズの休符の部分に「チャカチャカ」と弦をヒットする音が出ると思いますが、次のステップは、その空ストロークをしている時に弦をヒットするか、完全に空振りして音を出さないかをコントロールすることです。



写真1 体でリズムをとりながら、はじめは余裕のあるテンポで

完全に音を消すとフレーズ自体がクールに聴こえ、弦をヒットすればするほどドライブ感が増します。これを楽曲の中で使い分けられるようになると、フレーズがグッと歌うようになります。譜例2のようなシンプルなパターンで空ストローク部分の音を出したり完全に消したりして、コントロールできるようにしましょう。注意する点は、音を消す時にも空ストロークの動きを止めないことです。



譜例1 5弦7フレットがリートのEm7のコード・フォームで、なるべく譜面に忠実に弾いてみよう



譜例2 コードはすべて3～5フレット付近がリートのセーハ・コードで、4弦～1弦中心のストロークで弾くように

STEP 2

ツイン・ギターでのバックング・コンビネーション

ツイン・ギターでバックングをする時、お互いが勝手気ままに弾いているとせっかくのコンビネーションを台無しにしてしまいます。必ずそれぞれが弾いているフレーズの意味合いを理解しておくことが大切です。意味合いとは、2つのバックング・パターンがリズム的にどのように絡んでいるのかを、それぞれがお互いに明確にして弾いているかどうかということです。

コード・バックングでのアプローチ

ツイン・ギターで6弦すべてを使ったフル・レンジのコードやパワー・コードをバックングする時のアプローチの仕方は、大きく分けて2つの方法が考えられます。1つは、2人で同じリズムを弾く方法です。2人でユニゾンして弾くことで、フレーズの奏でるビートがより強調されドライブ感の溢れるサウンドになります。ロック系のサビなどを盛り上げるには有効な手段です。

もう1つは、それぞれのフレーズの休符部分にお互いが音を出すようにする方法です。演



譜例3 コードは6弦5フレットがルートを押さえて、4～1弦中心のコード・ストロークで歯切れ良く弾こう



譜例4 伸ばしている音以外は右手を軽くブリッジ・ミュート気味で弾くと雰囲気が出る

奏の仕方によってはうるさくなりがちなツイン・ギターのバックングも、まるで1本のギターで弾いているかのようにも聴こえ、バックング・パターンがシンプルであってもビートをしっかりと出すことができます。譜例3のようなシンプルなパターンを使って、その感覚を身に付けていきましょう。

単音バックングでのアプローチ

単音でのバックングといえば、まず思い出すのがロック系などで多用される「リフ」です。リフはツイン・ギターの場合、ユニゾンで弾くことが常套手段です。2人で同じラインのフレーズを弾くことで、よりリフの持つグルーブを強調

でき、楽曲に勢いをつけることができます。

一方、ポップス系の楽曲などでよく用いられる「単音ミュート・バックング」と言われる方法がありますが、演奏する時には注意が必要です。2本のギターが両方とも単音のブリッジ・ミュートでバックングをする場合、同じフレーズを弾いても相乗効果が薄くなるため、お互いのフレーズがほど良く複雑に絡み合うようにすることがほとんどです。それぞれのフレーズに勢いがついて、楽曲全体においてもプラスの効果につながります。譜例4を例題として、相手のフレーズを意識しながら自分のフレーズを弾いてみましょう。メンバーや部員のギタリスト2人で弾いてみて、その感覚を体験してみてください。



写真2 お互い見合いノリを合わせることを意識しよう

Tips!

エフェクターでバックングのバリエーションが広がる

同じバックング・フレーズでも、音色に一味加えるだけでそのテイストは随分と変わるものです。例えば、オーバー・ドライブなどのエフェクターで歪ませて弾いているフレーズに、「ワウ」というエフェクターをプラスして弾くと、よりファンキーなサウンドになります。ワウはペダルをリズムに合わせて踏むのが基本ですが、4分音符に合わせてたり2分音符に合わせてたりするこ

とでフレーズのニュアンスも変わります。また、「フェイザー」というエフェクターをかけるとサウンドにうねる感じが出て楽曲のアクセントになったりします。

しかし、どちらの場合もかけ過ぎは逆効果なので、コンパクト・エフェクターなど個別のエフェクターを使用する場合は、歪み系のエフェクターの前につなぐことをお勧めします。



▲ Vox ワウ・ペダル (左)、MXR フェイズ 90 (右)。どちらも定番



ベース ⑥

ベース・ラインや ベース・ソロの作り方

「ベース・ソロ」と言われると少しハードルが高いように思えるかもしれませんが、例えば、簡単なコード進行の中でさっとアドリブのフレーズが弾けたら良いな、とは誰しもが思うことでしょう。ベース・ソロはベース・ラインを作ることの延長です。縁の下の力持ちのような役割のベースも、フレーズを装飾したりすることで楽曲に華を添えることができます。(文・山田潤一)

STEP 1

ペンタトニック・スケールを覚える

ベース・ラインやベース・ソロのフレーズを作るにあたって、まず覚えたいのは「ペンタトニック・スケール」です。ペンタトニックとは、メジャーあるいはマイナー・スケールを5音にしたもので、様々な音楽で使われているスケールです。簡単に言うとメジャー・スケール、マイナー・スケールの簡易版という感じです。この2つを覚えるだけでもフレー징ングのアイデアが飛躍的に増えます。

メジャー・ペンタと マイナー・ペンタ

メジャー・ペンタトニック・スケール（以下、メジャー・ペンタ）は、メジャー・スケールの4度と7度を抜いたスケールです。CをルートとしたCメジャー・ペンタだと、FとBの音を抜くことになります。マイナー・ペンタトニック・スケール（以下、マイナー・ペンタ）は、ナチュラル・マイナー・スケールの2度と6度を抜いてできています。Aマイナー・ペンタだと、BとFの音が抜かれます。Cメジャー・スケールとAマイナー・スケールは平行調の

関係で構成音は同じですが、これはペンタトニックになった場合でも変わりません。

この2つのペンタトニック・スケールを覚えるポイントは「音使い」です。練習する場合は、Cメジャー・ペンタを弾く時でも平行調のAマイナー・ペンタを意識して、♩ = 100ぐらいのテンポからしっかりと行いましょう（譜例1）。

さらに、この音使いは始める場所を変えるだけで違うキーのペンタになります。例えば、3弦1フレットから始めるとB♭メジャー・ペンタとGマイナー・ペンタになります。他のポジションでも練習して、すべてのキーに対応できるようにしましょう。

装飾をつけて弾く

ペンタトニック・スケールは、ただ順番通りに弾いてしまうと少し気の抜けた印象になってしまいます。弾く順番を変えたり、ハンマリング、プリングなどのテクニックを入れることで、より実践的なものになります。譜例2を♩ = 120から170ぐらいで弾いてみましょう。さらに速くする場合は、16分音符に置き

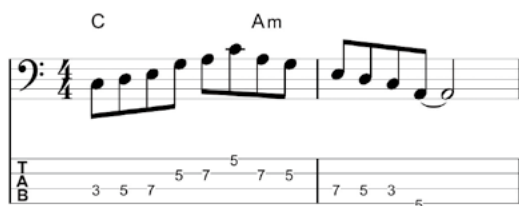


写真1 Aマイナー・ペンタを意識しながらCメジャー・ペンタを弾いてみよう

換えてください。

ポイントは、ハンマリング、プリングのタイミングと音符の長さです。これが雑になってしまおうと何を弾いているのかわかりにくくなってしまおうので、1つ1つの音を丁寧に弾くように心がけて練習しましょう。

これは一例ですが、他にも様々な弾き方や装飾テクニックを使って、自分なりのベース・ラインやソロを作ってみてください。慣れてきたら、簡単なコード進行とドラムなどのリズムがある中でラインを作ってみましょう。オリジナル楽曲のベース・ラインを作る際にも役立つと思います。



譜例1 音使いを意識しよう



譜例2 「h」はハンマリング、「p」はプリング。リズムと音符を丁寧に弾こう

STEP 2

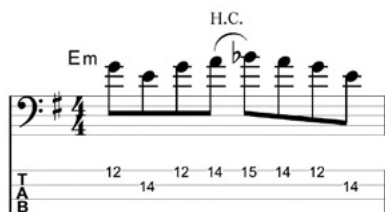
プラス・アルファのベース・テクニク

ベースは、和音の土台である1度（ルート）を支え、アンサンブルにとってとても大切な役割を担っています。しかし、メロディー楽器としても成り立つベースは、そのフレーズに歌心がなくてはなりません。…といっても、難しいことをしようということではなく、長くても短くてもストーリー性を感じさせ、フレーズに華を添えてくれるような、マスターすればベース・ソロにも使えるベース・テクニクを身につけましょう。

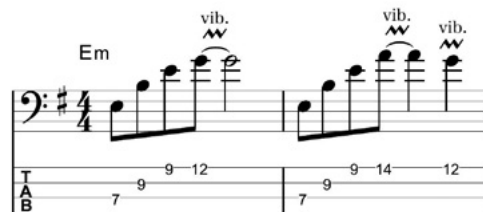
「チョーキング」と「ビブラート」

ギターでは当たり前の「チョーキング」ですが、ベースではあまり使うことがないので、逆に、身につけておくと強い味方になります。今回は、Eマイナー・ペンタを使って練習しましょう（譜例3）。ポイントは、チョーキングした音をしっかりと出したい音程にすることです。練習の際は、まず実際の音程を確かめてから始め、最終的には耳で判断できるようになることを目指しましょう。チョーキングする時は、人差し指、中指、薬指の3本を使い、親指はネックを握り込むようにすると指に力が伝わりやすくなります（写真2）。

「ビブラート」も、プレイに色気がついて、様々な場所で使えるので、しっかりと練習しておきたいテクニクです。こちらも、Eマイナー・ペンタを利用したフレーズで、音使いを意識しながら練習していきましょう（譜例4）。ビブラートのポイントは、揺らす速度と脱力です。ビブラートは揺らす速度でかかり具合が変わっ



譜例3 上げすぎると音程が変わるので注意



譜例4 リズムを意識して16分音符でビブラートをかけよう

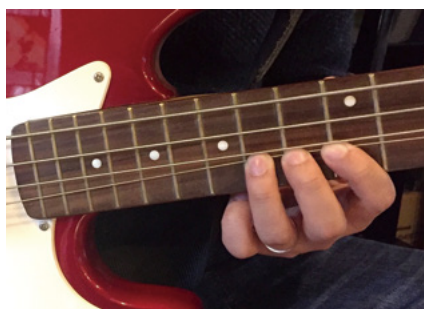


写真2 複数の指でネックを握る感じで



写真3 ビブラートをかける時は、指は一本だけ

てきます。例えば、強くかけたい場合は速く、弱くかけたい時はゆっくり揺らす感じです。揺らす時は、親指を軸に左右に動かすのですが、弦を押さえる方の指は1本にして、力みすぎないように脱力を心がけるようにしましょう（写真3）。

また、リズムを意識してビブラートをかけることも大切です。例えば、譜例4をテンポ♩=80ぐらいで行う場合は、16分音符で揺らすように動かします。リズムから外れてしまうと悪い方に目立ってしまうので、必ずメトロノームを

使ってリズムを意識しながら練習しましょう。

2つのテクニクを複合させる

さらに、これら2つを合わせた「チョーキング・ビブラート」というテクニクもあります。これは弦を上下に動かしてチョーキングしながらビブラートをかけるテクニクです。2つのテクニクの注意点を参考にして、譜例4のビブラートをすべてチョーキング・ビブラートにして練習してみましょう。

Tips!

民族音楽のスケールで世界を旅する

世界には様々な民族音楽が存在し、独特なスケールがあります。それらはロックやポップスなど様々な楽曲に取り入れられていて、聴いただけでその国や地方をイメージすることができます。スペインのフラメンコなどで使われている「スパニッシュ・スケール」は、CをルートとするとC、Db、Eb、E、F、G、Ab、Bbです。弾いているとカレーが食べたくなるインドのス

ケール「アラビック・スケール」はC、Db、E、F、G、Ab、B。バカンス気分させてくれる沖縄の「琉球スケール」はC、E、F、G、Bです。

このように、民族スケールはその国や地方の歴史、文化、国民性を象徴しているかのように面白いものです。調べてみると、ベース・ライン作りや作曲などに役立つかもしれませんよ。



▲世界中の音楽に目を向けてみよう



ドラム ⑥

バス・ドラムでワンランク上のドラミングを目指す

バス・ドラムのフレーズにバリエーションが出ると、様々なプレイに対応できるようになって、ドラミングの幅が格段に広がります。しかし、普段ほとんど歩くことしかさせていない足に繊細な動きをさせるわけですから、当然ながら一朝一夕にはいきません。ゆっくりと時間をかけてマスターして、ワンランク上のドラミングを目指しましょう。(文・辻伸介)

STEP 1

バス・ドラムのダブル

ドラムを少し叩けるようになると、「なかなか思うようにいかない」と思えてくるのがバス・ドラム、すなわち右足ではないでしょうか。やはり、足は手に比べて自由に動いてくれません。ポイントはペダルの跳ね返りをうまく使うことなのですが、特に、1回のストロークで2打踏み込むバス・ドラムの「ダブル」は、スプリングの強さやフット・ボードを踏む位置など、足の動作とのマッチングがカギとなります。

スライドとトゥ・アンド・ヒール

ダブルの踏み方は人によって千差万別ですが、まずは「速く連打させる」ことよりも、リズム・パターンに組み込めるように「正確に踏む」ことを目指しましょう。今回は、オーソドックスな踏み方である、かかとを上げた「ヒール・アップ奏法」でのダブルの踏み方を説明します。

方法は大きく分けて2種類あります。ペダルの上をスライドさせるようにペダルの真ん中あたりで1打、先の方で2打目を踏むという方法と、1打目を指の付け根あたりで踏んで、2打目を足全体で踏む「トゥ・アンド・ヒール」方法です。どちらもコントロールは簡単ではありませんが、大きな違いは前者が足首を動かさず固めて行い、後者が逆に足首を柔らかくして行うということです。普段の踏み方にもよりますが、自分に合った踏み方で練習していきましょう。

最近、インターネット動画などでよく出てくる、1打目をかかとで踏んで、2打目をつま先

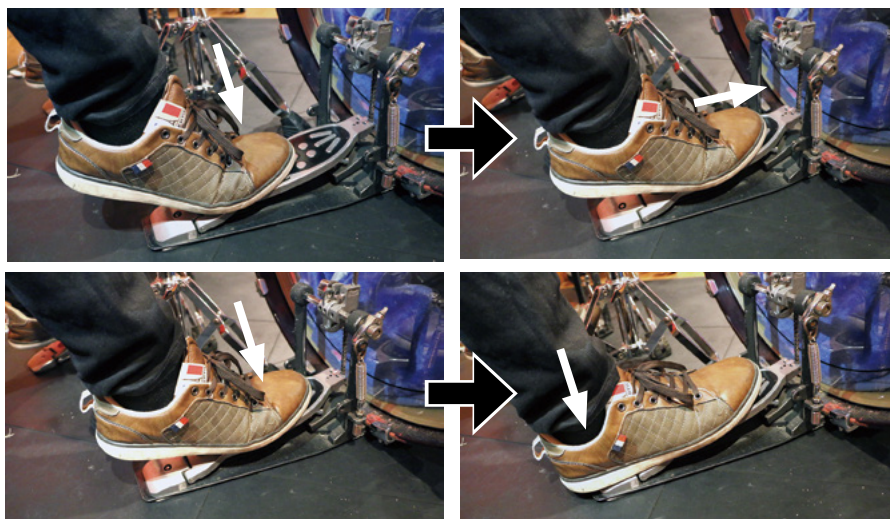


写真1～4 ダブルの踏み方。ペダル上をスライドさせる方法(上)と、つま先→足全体で行う方法(下)

の方で踏むという方法は、ダブルを速く連打する時などに行う少し特殊な踏み方なので、まずはこの2種類のどちらかで行ってみたいことをお勧めします。

ダブルの練習方法

バス・ドラムのダブルは、「しっかりと2回音が出ること」と「狙ったタイミングで踏めるようにコントロールできること」が目標です。

練習は左足のハイハットと一緒にいきましょう(譜例1)。メトロノームを「70」ぐらいの遅めのテンポから始めて、地道に確実に練習してください。焦ってテンポを速くすると、足が無理な動きを覚えてしまっても修正に時間がかかってしまうことがあります。

1打目が大きかったり2打目が大きかったりせずに、「ドドッ」ときれいに2回踏むことを意識して、ペダル上の足の動きを確認しながら行いましょう。



譜例1 はじめは別々に練習して、慣れてきたら交互に続けてみよう。×印は左足のフット・ハイハット

STEP 2

バス・ドラムをからめたフレーズやフィル・イン

リズム・パターンだけではなく、フィル・インなどにバス・ドラムをからめられるようになると、フレージングの幅が一段と広がります。手だけではどうしても無理が生じて叩けなかったフレーズや、バス・ドラムだからこそ迫力が出るフレーズが加わることで、ワンランク上のドラミングが可能となります。

バス・ドラムで締める

ドラム・セットの中で最も低い音が出るバス・ドラムは、手で叩いたフレーズの最後に組み込むことで、フレーズを引き締め、次に移動する手順をスムーズにします。

譜例 2 は、16 分音符の 4 つ目や 3 連符の 3 つ目にバス・ドラムを踏むという王道パターンの一例です。手順に決まりはありませんが、基本的には右手スタートで練習を始めましょう。慣れてきたら手順を変えたり、タムを叩いたりすると、さらに良いメソッドとなります。この練習を行う時も、必ずメトロノームを使って無理のないテンポから始めてください。また、左足のハイハットを 4 分音符で踏みながら行うと、さらに 4 ウエイ的なエクササイズになります。

ツイン・ペダル要らず

ツイン・ペダルは、今やヘヴィな楽曲だけではなく、ポップス系にも使われるので、初めてマイ・ペダルを購入する時にツイン・ペダルを選ぶ人も多いのではないのでしょうか。し

かし、ツイン・ペダルを持っていない人も、STEP1 のダブル奏法を利用すれば、雰囲気に近いフレーズを演奏することができます。

譜例 3 は、16 分音符の 3 打目と 4 打目、6 連符の 5 打目と 6 打目をバス・ドラムで踏むフレーズです。メトロノームを使って、無理のないテンポからゆっくり確実にマスターしていきましょう。

また、左足スタートで左右左右〜と足をバタバタさせると、16 分音符の 2 打目と 4 打目にバス・ドラムを踏んでいることになりま



ようなフレーズになります（譜例 4）。正確に 16 分音符になるように心がけながら練習してみてください。



譜例 2 慣れてきたら交互に連続して練習しよう。その際はメトロノームでテンポをキープしながら行おう



譜例 3 慣れてきたら手で叩く場所をタムにしてフレーズを組み立てよう。ドラム・ソロにも使える王道フレーズだ



譜例 4 まるでツイン・ペダルを踏んでいるかのような迫力あるフレーズになる

Tips!

キック・ペダルを調整しよう

ペダルを持っていない人は、学校の備品を使用していると思います。ペダルにはスプリングの強さやピーターの長さ、ウエイトの有無など、自分の好みに調整できる部分がたくさんあるのですが、共用となると毎回調整するのは面倒なので、いつもそのまま使っているという人が多いのではないのでしょうか。ドラムを演奏する時にイスの高さやタムの角度、シンバルの場所や向きなどを調整するのと同

じように、ペダルも自分の足に合った調整をすることで踏み心地がまったく変わります。

もちろん、いつも同じ調整のペダルを使った方が上達も早く、本番でも「なんかいつものように踏めないなあ」というストレスがなくなります。ギタリストやベーシストは楽器やエフェクターを自分で用意して持参しています。ドラマーの機材購入は、キック・ペダルが最初かもしれません。



▲①ピーターの長さ、②カムの角度、③スプリングの強さの調整ができる。好みに合わせよう



キーボード ⑥

プラスαで輝ける鍵盤プレイ

ボーカルやギターと違って、ステージ上を動き回ってパフォーマンスするのが難しいキーボード・パートですが、輝ける演奏で印象づけることはできます。今回は、繰り返しの練習と綿密な準備によって引き出せる「カッコ良い演奏法」を紹介します。ステージで「魅せる」ということは、偶然とノリだけに頼ってはいけないというお話です。(文・竹中敬一)

STEP 1

キーボードのグリッサンド

「グリッサンド」とは、鍵盤上で手を滑らせて音を鳴らす演奏法です。ソロを取った終盤に感極まってたどり着く場合も多いですが、普段のフレーズの中でも効果的に使うことができます。音色によってもグリッサンドのイメージが変わってくるので、いくつかの音色で練習してみましょう。

ストリングス&ブラス編

音色の違いによって、グリッサンドの演奏方法は様々です。しかし、どの音色でもフレーズの中のある音を起点として、その音の処理の仕方としてグリッサンドを用います。

譜例 1 は、ストリングスの音色での練習フレーズです。ストリングスとは、チェロやバイオリンなどの弦楽器のことです。オクターブなので指が届かなければ両手で弾いても構いません。譜例のような短く細かいフレーズを弾く時は、アタックがしっかりと出る音色を選んでください。♩ = 80 くらいのテンポで弾けると雰囲気が出るでしょう。グリッサンドをする時は、直前に手首を軽く持ち上げ、指を滑らせていく方向へ弧を描くように動かし、手首主導で軽く指を引きするイメージで弾きます。グリッサンドは、あくまで付け足しですが、起点となる音はしっかりと弾くことがポイントです。練習では、長い距離をグリッサンドするのではなく、起点から 5 度下くらいまで弾いたら腕を上げましょう。

譜例 2 は、トランペットやサックスなどの管楽器によるブラス・セクションの音色での練習

です。実際に楽器を吹いているイメージを持って最後の和音をグリッサンドします。ストリングスの時より、起点の和音を気持ち長めに押さえます。速くグリッサンドすればシャープなブラス・フレーズに、ため気味にグリッサンドすれば、ファンク・ミュージックなどで聴ける粘っこい雰囲気が出せるでしょう。休符と音符の長さをしっかりと捉え、繰り返し練習してください。

オルガン&ピアノ編

オルガンは、弾く強さ（ペロシティー）で音量が変わりません。そんな特徴を生かし、オルガンの場合は手のひらや束ねた指を使って音圧のあるグリッサンドをしましょう（写真 1）。下降だけではなく、上昇も有効です。手を筆に見立て、並んだ鍵盤の上に力強く数字の「一」や、カタカナの「ノ」の字を書くようにするつ

もりで行いましょう。ロータリー・スピーカーのエフェクトがある場合は、必ず Fast にしておいてください。派手な音色を演出できます。

最後にピアノです。鍵盤が重いので、途中で引っかけないように親指と人差し指でしっかりと滑らせましょう。ピアノは減衰音の楽器なので、必ずダンパー・ペダルを踏んでおきましょう。



写真 1 オルガンは手のひらでグリッサンドしても可



譜例 1 ストリングスのグリッサンド練習用フレーズ。繰り返し練習しよう



譜例 2 ブラス・セクションのグリッサンド練習用フレーズ。リズムを感じよう

STEP 2

ベンド & モジュレーションを使った奏法

楽器を演奏している人なら、「ステージ上で歌ってみたい」という気持ちは少なからずあると思います。楽器のソロはそれに代わるものだと言っても良いでしょう。キーボードでも、ソロの音色によっては歌に匹敵する表現ができます。弾くフレーズを「+α」の機能を使ってエモーショナルなプレイに進化させましょう。

ピッチ・ベンド

キーボードの左側にはいくつかのコントローラーが並んでいますが、その1つにピッチ（音程）をベンド（曲げる）するコントローラーがあります。メーカーによって形や向きは様々ですが、このコントローラーでリアル・タイムに弾いている音の高さを上げ下げすることができます。初期設定はおおむね、センターからプラス方向に傾けると音程が上がり、マイナス方向

に傾けると下がるようになっていきます。その変化の幅は長2度がほとんどです。

奏法は、「弾いた音をベンドする」「弾いた音へ達するようにベンドする」の2パターンに大きく分かれます。前者はギターのチョーキングのような使い方、後者はあらかじめベンドを下げたおき、目的の鍵盤を弾いたあとにベンドで音程を戻します。譜例3の1小節目の冒頭は、ベンドを使った「上げ」フレーズです。STEP1同様、正確にリズムを感じてプレイすることが原則です。下段のようなリズムになるようにコントローラーを動かしましょう。下段の後半2ヶ所は、戻す形です。

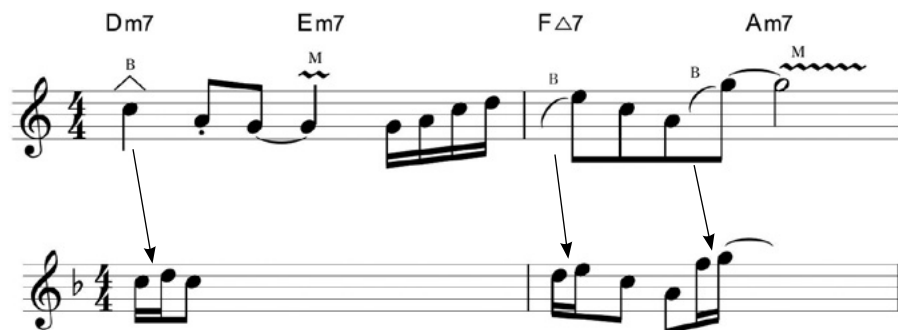
ギター・ソロを弾いているようなプレイをキーボードで再現したい場合、マイナス方向のベンド幅を完全5度の音程か、それ以上に設定しておきます。こうすることで、マイナス方向の音程は不安定になり、ベンド幅の動かし加

減と自分の耳を頼りに音程を取らなくてはなりません。また、下げ幅を広く設定することで、ギター特有のスライド奏法も再現できます。この、ある種の不便さや制限こそが、ギター・パートの持つ人間臭い演奏に近づけられる要因です。

モジュレーション

「モジュレーション」とは「変調」という意味です。このエフェクトをかけると、周期的な波で音を揺らす効果が得られます。いわゆるビブラートのような感じです。ピッチ・ベンドの横に並ぶホイールや、ベンドをY軸プラス方向へ傾けると、モジュレーションがかかります（写真2）。

自分の感情とシンクロするようにビブラートをかけ、歌心あるメロディー・ラインやシンセ・ソロを演出しましょう。



譜例3 「B」はベンド、「M」はモジュレーション。下はベンドを使った時のリズムのイメージ



写真2 ピッチ・ベンドとモジュレーションが1つになったコントローラーの例

Tips!

「ネコふんじゃった」に隠された秘密

小さい頃、鍵盤楽器を遊具の1つとして触っていたり、「ネコふんじゃった」を弾いて遊んでいたという人もいるのではないでしょうか。

面白いことに、実はこの「ネコふんじゃった」という楽曲をみんな同じキーで弾いているのです。そのキーはGbメジャー。フラットが6つもつくかなり難易度の高い調性です。では、なぜ難しいGbメジャー・キーで弾くのかというと、最初のメロ

ディーを白鍵よりも少し高い位置にあって弾きやすい黒鍵だけで全部弾けるからです。中には手をグーにしたまま弾いた人もいます。

黒鍵は日本固有の五音階（ヨナ抜き音階）と同じ並びをしているので、黒鍵をいい加減に弾いても日本的なメロディーになります。黒鍵をグリッサンドすると、まるで箏を弾いているかのような和の響きが出てくるから不思議です。



▲黒鍵をグーで弾いてもメロディーに聴こえる

アンサンブル向上委員会

ダイナミクスをつける① 音量

アンサンブルとは「合奏」のことです。バンド演奏で最も大事にしなければならないのは「合わせる」こと。中でも「ダイナミクス」に関わることは重要です。

音の三要素は「音程」「音色」「音量」と言われます。音程は音の高低差のこと、音色は「ねいろ」です。そして音量はボリュームのことですが、皆さんはバンド演奏をする時に音量を気にしていますか？

もちろん、聴こえにくい、うるさいなどと練習中は各パートの調整をしていると思いますが、今回考えてもらいたいことはそういった全体的な音量のことではなく、演奏中の細かな音量設定のことです。

皆さんが聴いている既存曲の音源は、レコーディング作業によってほぼ一定の音量で鳴っています。全体的にはそう感じないかもしれませんが、個々の楽器や歌を取り出して聴いてみると、あまり音量の上下がないように思うはずです。こういった音源からコピーをすると、細かなダイナミクス



▲ダイナミクスの加減は実際に音を出さないとわからない

に気遣う意識は持てないかもしれません。また、市販のポピュラーミュージックの楽譜を見ても、クラシックの譜面のように音量などの指示は細かく記されていません。すなわち、既存曲のコピーであっても、実際に音を出している自分たちで自分たちの演奏のダイナミクスを決めていかなければならないということです。オリジナル曲ならなおさらです。

当然ながら個々に歌や演奏のフレーズ自体の強弱も考えるべきですが、アンサンブルとしてセクションごとに全体のダイナミクスを起承転結に照らし合わせていくことが大切です。イントロ、Aメロ、Bメロ、サビ、間奏、エンディング…といったセクションの音量的ピークはどこでしょうか。例えば、サビが一番盛り上がる箇所だとし

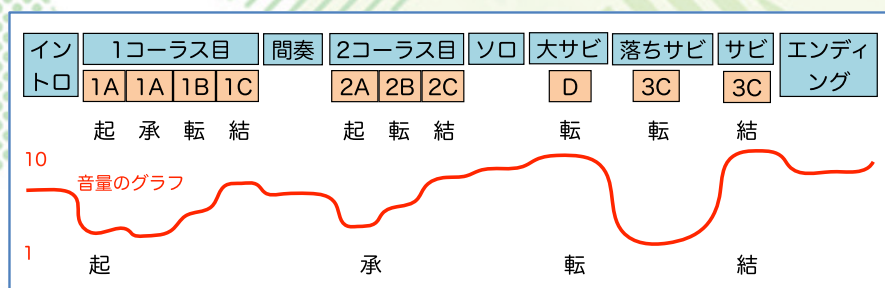
て、サビは曲中に何度も出てきます。すべてのサビが同じ音量で良いでしょうか。最大レベルを10として、最後のサビが10、すると1コーラス目のサビは8ぐらい？、じゃあその前のAメロは3？4？、Bメロは？…と数値で話し合ってみると、イメージが共有しやすいと思います。

ダイナミクスは歌詞の内容やドラマの流れ、ボーカリストの感情の動きを考慮しなければいけません。また、目立つべきキーボードリフやギターソロなどの伴奏時との音量差、ボーカルとコーラスの音量差なども重要です。そして、最も大事で難しいのが、AメロからBメロ、Bメロからサビといったセクションのつなぎ目のダイナミクス加減です。トライ＆エラーを繰り返して何度も話し合い、練習しましょう。

感情が伝わる音量の操作



例えば、「昨日は良い天気だった」という文章をアナウンサー風に淡々と強弱なく言うと、それはただの情報になります。しかし、強弱やイントネーションをつけると、感情が加わり「気持ち」になります。そういった変化は、感情を含めた方が効果的な「好きです」「負けないぞ」といった言葉ならより差が出ます。これがフレーズのダイナミクスです。大切なのは「何を言う（弾く）か」ではなく、「どう言う（弾く）か」なのです。そして、ドラマならそのセリフのバックにどのくらいの音量で音楽が流れているでしょうか。それが伴奏のダイナミクスです。



▲一般的な楽曲のダイナミクスの例。全体的な抑揚（起承転結）とセクションの中の抑揚がある

ロック 解体新書

人気楽曲をワンポイント解説

パートごとのフレーズや音作りなどに焦点を当てて、1曲をじっくり解析していくとともに、その効果や習得方法などを解説しています。例題曲のコピーをする時やオリジナル曲を作る時に役立ててください。



ボーカル編



ギター編



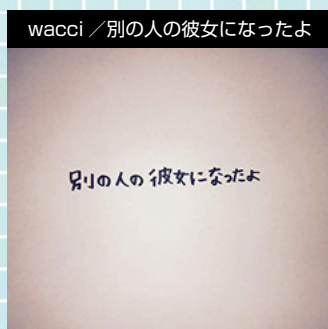
ベース編



ドラム編



キーボード編





ロック解体新書 ボーカル編

文・佐藤智恵

Ado 私は最強

～心情を声色とリズムで伝える歌～

彗星の如く現れた Ado は、14 歳から「歌ってみた動画」を投稿し歌手として活動していたが、2020 年のメジャー 1 作目となる「うっせえわ」の大ヒットで一気に知名度が上がった。

2022 年公開のアニメ映画「ONE PIECE FILM RED」の劇中歌である「私は最強」は、作中に登場するキャラクター、ウタとして Ado が歌唱している。作者である Mrs. GREEN APPLE の大森元貴 (Vo) の意図を汲み取りながら、Ado 特有の変幻自在な表現を盛り込んだ繊細で爽快なアッパーチューンだ。

多様性のあるボーカリエーション……

Ado は地声や裏声を巧みに使いこなし変化に富んだ声色を自在に使い分けるが、セクションごとではなくフレーズごとに細やかに声色を変えるため、まるで複数人で歌っているかのようだ。この楽曲でも様々な声色が出てくるが、最も変化がわかりやすいのは 2 コーラス目に出てくる C メロだ。キーと拍子が変わることで生じた雰囲気の違いに合わせて、声色とリズムを軽やかにしている。

しかし、目立ちにくい箇所でも同じ歌詞や同じメロディを精妙に変化させ、心情の違いを表現していることも多い。例えば、1 コーラス目のサビとラストのサビで出てくる「♪さあ、握る手と手 ヒカリの方へ～」では、1 コーラス目のサビは尖った感じの硬い声、ラストのサビは柔らかい声で歌っている。

他にも、曲頭のサビの「♪さあ、怖くはない 不安はない～」と、2 コーラス目のサビの「♪さあ、怖くはない？ 不安はない？～」は、同じ歌詞なのだが「？」の有無に違いがあり意味は変わってくる。ここでは、曲頭のサビは鼻にかけた太めな声で、2 コーラス目のサ

ビはクリアな軽めの声…というように声色を使い分けている。微かなニュアンスの違いによって歌詞の伝え方を変えているのだ。

特筆すべきなのは、どの声色になっても言葉がちゃんと聴こえているところだ。だからこそメッセージ性が強くなり、聴く者の心を捉えるのだろう。

リズムを感じさせる言葉の強調……

B メロは付点音符のリズムを使ったメロディになっている。同じ付点音符を使ったリズムが連続するメロディは、メリハリをつけずに歌うとのっぺりとしてしまうだけではなく、テンポ感が前のめりになって拍を見失いがちになってしまう。

この楽曲では、表拍に重なる言葉を明確にしてアクセントを付けている。例えば、「♪ぜっ-たい-に」の「っ」と「い」、「♪み-れる-の」の「み」と「る」…といったように、ビートである 1 拍目と 3 拍目の表拍にあたる部分をハッキリとさせ、付点音符のリズムを出しつつテンポからズレることなく歌っている（譜例）。

また、前述の 2 コーラス目 C メロの「♪くさるでしょう～」では、「さ」を強調することで 4 分の 3 拍子から 4 分の 4 拍子への切り替わりを明確にしている。



譜例 B メロ。表拍（1 拍目、3 拍目）の言葉が強調されている

参考にするなら、この曲もオススメ！



倉橋ヨエコ 友達のうた

2008 年に廃業宣言したシンガーソングライター、倉橋ヨエコの最後のアルバム『解体ピアノ』収録の 5th シングル。昭和歌謡やジャズの要素を取り入れた楽曲や独特な歌い方はインパクト大。2023 年にヨエコとして活動を再開。



岡村靖幸 SUPER GIRL

シンガーソングライター、岡村靖幸の 1988 年にリリースされた 6th シングル。2018 年に AbemaTV のドラマ主題歌に起用され再び脚光を浴びた。一癖も二癖もある歌い方、ダンス、歌詞、メロディはどれをとっても強烈。



Rick Rack ソルジャーガールズ

～力強さと疾走感を引き出すフレージング～

Rick Rack (リック・ラック) は、2013年に結成され、数々のオーディション大会で好成績を収め注目を集めた3ピースガールズバンドだ。「ソルジャーガールズ」は、2015年にリリースされた1st ミニアルバム『今を生きぬく乙女たち』に収録され、3ピースというシンプルな編成ながらも音の薄さを感じさせない骨太なロックサウンドに仕上がっている人気曲。何度かのメンバーチェンジや改名を経て、FERN PLANET (フェルン・プラネット) としてもセルフ・リメイクされているが、力強く疾走感のあるボーカルは変わらない。

アクセントの付け方で変わる表現・・・・

この楽曲で使われているテクニックの1つに「アクセント」がある。アクセントには大きく分けて、疾走感や勢いを出す「子音アクセント」と、強弱を出す「母音アクセント」があるのだが、この楽曲ではその両方を取り入れることで、単調にならず、メリハリのある表現になっている。

例えば、出だしの「♪嗚呼 また作戦失敗～」という部分でも、既に2種類のアクセントが使われている。最初の「ああ」には、息をプラスしてあえて「はあ」にすることで子音アクセントを強調して



譜例 子音アクセントと母音アクセントのイメージ

勢いをつけ、「作戦」では「さくせえん」と「せ」の母音の「え」にアクセントを置いて強さを出している(譜例)。このように、短いフレーズであってもアクセントの付け方によって歌の表現に「うねり」が生まれるのだ。また、聴かせどころのサビでは、他のセクションとほとんど音域が変わらない分、子音アクセントを増やすことで勢いと疾走感を生んでいる。

アクセントには「強さ」だけではなく「スピード」も重要で、どのくらいの速さで付けるのかによって歌のイメージは変わってくる。当然ながら、ミディアムテンポやスローテンポでもアクセントは必要になってくるので、それぞれの楽曲に合った速さで適切にアクセントを付けるには、歌いながらリズムを感じていることが大切となる。

粒立った言葉の効果・・・・

たたみかけるような早口とキメが印象的なBメロでは、キメの間で乱れることなくメロディーが駆け抜けている。単純にテンポから遅れないようにするだけではなく、言葉の「粒」が立っているため歌詞がしっかりと聴こえ、メロディーのリズムにスピード感が出ている。後半のキメやベースとのユニゾンも安定して、演奏との一体感があるのもそのためだ。

特に、この楽曲のようにアップテンポで16分音符が多く入ったメロディーを歌いこなすためには、単純に唇と舌を素早く動かして子音をはっきりと発音し、言葉を立体的にする必要がある。言葉の発音1つで感情の伝わり方が変わったり、滑舌の悪さがリズムを狂わせたりするものなので、言葉自体が持つ「音」を大切に歌おう。

参考にするなら、この曲もオススメ!



FLiP カートニアゴ

世界で注目された沖縄県出身の4人組ガールズロックバンド、フリップの2011年にリリースされた1stシングル。アニメ「よりぬき銀魂さん」のオープニングテーマ。パワフル&エネルギッシュで歯切れの良い歌と演奏は一聴の価値あり。



Nakamura Emi YAMABIKO

HIP HOPやJAZZに影響を受けたというシンガーソングライター、ナカムラエミの歌とラップの中間のようなスタイルが魅力的な楽曲。16分音符が多いメロディーを力強くリズミカルに歌い上げている。2016年リリース。



Ado うっせえわ

～歌詞以上に圧倒的なボーカルの表現力～

瞬く間に注目の的となった18歳のシンガー、Adoのメジャー1作目となる2020年にリリースされたこの楽曲は、アップ3ヶ月で8000万回を超えるYouTubeの動画再生回数(2021年3月現在)だけではなく、様々なヒットチャートで上位にランクインしている。衝撃的な歌詞や動画のインパクトに注目が集まるが、この楽曲で最も特筆すべきは、やはり圧倒的な表現力から生まれる「声色のボキャブラリーの多さ」であろう。

10種類以上の声色を使いわける……………

まずは冒頭の部分。「♪正しさとは～」では優しいウィスパーボイス気味の声色。「♪それが何か」の「そ」は強くしゃくり、芯のある発声の声色。「♪見せつけてやる～」で、がなったシャウトの声色が使われている(譜例)。続くAメロでは「♪ちっちゃな頃から～」での可愛い声色から、「♪ナイフのような～」で鼻濁音まじりの妖異な声色、「♪持ち合わせる～」での悩ましいウィスパーボイス、「♪でも遊び足りない～」での尖ったヒステリック気味の鼻濁音で張っ



譜例 声色の特徴を自分なりに歌詞カードに書き込み、それを見ながら歌ってみよう

た声色、「♪あてもなく～」の裏声と地声を混ぜたおしとやかな優しい声色、「♪それもそっか」の低音質を強く出した怖い声色…と、変幻自在である。

さらに、Bメロで「♪最新の流行は～」の地を這うようなローボイスから、「♪純情な精神～」でよりおどろおどろしくなり、その後の「♪～当然のルールです」の「です」だけお色気たっぷりのしゃくり気味の声色になる。ここまででもかなり驚異的だが、サビの「♪は～」というかなりの強いシャウトボイスに始まり、「♪うっせえ～」での地声と裏声の巧みな切り替え、「♪あなたが思うより健康です」のヒステリックなシャウト、「♪一切切切凡庸な」の滑舌の良い地声と裏声の切り替え、「♪あなたじゃ～」の大人びた太い声色、「♪かもね」の裏声…と、楽曲の冒頭からサビまでだけでも、10種類以上の声色を自由自在に切り替えて歌う、圧倒的な歌唱テクニックと表現力が詰まっている。

響きを意識した歌い方詞……………

日本語はアクセントの強弱が少ないため、時には「誇張した日本語」の発音で歌う必要がある。特にアップテンポのロックな歌の場合、リズムやアクセントを強調するために子音と母音をかなり誇張した発音で歌われることが多く、テクニックとしてとても難易度が高い。

この楽曲では、例えば、2コーラス目に出てくる「♪クソだりいな」という歌詞の「り」を巻き舌で歌っている。ロックな伴奏に合わせての表現だ。また、エンディングの転調後のサビでは、高い音程をあえて裏声を使わずに地声の強い響きの声で歌っている。メロディーのアタックが強調され、ラストに向かう絶頂感が表現されている。

参考にするなら、この曲もオススメ!



椎名林檎 丸の内サディスティック

日本を代表するシンガーソングライター、椎名林檎の1999年にリリースされたアルバム『無罪モラトリウム』に収録。響きを意識した歌詞の世界観は衝撃的で、現在も高い人気を持つ。多くの女性シンガーに影響を与えた功績は大きい。



小島麻由美 結婚相談所

シンガーソングライター、小島麻由美の1stシングル。1950年代のジャズや昭和歌謡の雰囲気漂う楽曲で、裏声と地声を使い分ける歌声とメロディー構成は今聴いても古く感じない。手書き風のアニメMVも世界観を表現。1995年リリース。



ロック解体新書 ギター編

文・岩尾 徹

緑黄色社会 キャラクター

～ダンサブルな曲の要はキレッキレのカッティング～

「リョクシャカ」の愛称で人気のバンド、緑黄色社会が2022年にリリースした3枚目のフルアルバム『Actor』の「アルバムの顔になるような曲」として制作されたのがこの楽曲だ。

ストレートな表現で描かれ、聴く人を後押ししてくれるような歌詞とポップで軽快なサウンドが光るこの楽曲の要になっているのは、ファンキーでキレの良いギターカッティングに他ならない。

曲調をコントロールするカッティング……

楽曲の冒頭は4小節という短いものなのだが、ギターカッティングに「ワウペダル」を使用している。一般的にクリーントーンでカッティングするよりも、ワウペダルというエフェクターを使用することでよりファンキーなテイストになる。その結果、この後の流れがダンサブルな曲調になるだろうということを予感させ、ワクワク感あふれるイントロとしての効果が出ている。

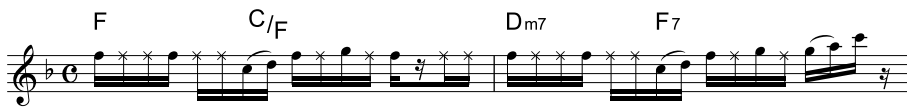
その後はサビが始まり、再びイントロ2ともいえるセクションになるのだが、この部分と曲中のサビのカッティングは同じアプローチをしている。このイントロ2の後半部分と曲中のサビでは、ベースがスラップ奏法をしてアグレッシブなグルーヴを生み出しているが、それに対してギターはコード進行の変化をできるだけ抑え、なるべく同じようなフレーズの繰り返しによるクールでキレの良いカッティングで軽快感を出している。このベースとギターの絡みが、アグレッシブ過ぎない程良いドライブ感を生み、よりダンサブルな曲調に仕上げる大きな要素になっているのだ。

楽曲のアクセントになる間奏と大サビ……

間奏は、こういったダンサブルな曲調によく見られる「カッティングソロ」がフィーチャーされている（譜例）。いわゆる一般的なギターソロだと、その部分だけでも曲調に明確な変化が生じてしまう。そこで、この楽曲ではAメロに出てくる単音カッティングをモチーフに、ソロっぽく感情的に弾くことでそれまでの流れを踏襲しながらも良い加減で曲調に変化を与えている。そのため、リスナーにとってはそれまで「歌メイン」のダンサブルな楽曲が、ここでは「ダンスメイン」と言わんばかりのシーンにスムーズに移行することができる。

そして、間奏の後には「大サビ」といえるセクションがくる。ここではギターが今までの16分音符主体のカッティングから8分音符主体のカッティングにアプローチを変えている。カッティングの音価が長くなったことで、今までの軽快感のあるダンサブルな曲調に対して、ゆったりとした広がりのある表情を生み出し、落ち着きのあるピアノメインのサビへと流れを構築している。

このように、スムーズなグルーヴの変化をギターのカッティングによってコントロールすることで、最後にくる転調したサビをさらに印象深いものにしているのだ。



譜例 ギターソロ。この単音カッティングはフルストロークで弾こう

参考にするなら、この曲もオススメ！



相対性理論 マイハートハードピンチ

中毒性の高いメロディが伝統的なファンクとマッチしたウィスパーボイス系バンド、相対性理論の3rdアルバム『シンクロニシティーン』収録。ワウペダルを駆使したファンキーなカッティングとボーカル絡みが印象的。2010年リリース。



Daft Punk Get Lucky

ダンスミュージックの歴史の中で最も影響力のあるアーティストの一組である音楽ユニット、ダフトパンクが2013年にリリースした18thシングル。カッティングの名手ナイル・ロジャースの真骨頂であるクールなカッティングが炸裂。



Novelbright Walking with you

～ツインギターは明確な役割分担が大事～

Novelbright（ノーベルブライト）は、各種 SNS や路上ライブ 動画などが話題となり、今後ブレイクすること間違いなしの 5 人組ロックバンドである。「Walking with you」は、2018 年にリリースされた初の全国流通アルバム『SKYWALK』に収録された、一度聴いたら忘れられない高ぶる感情をぶつけるようなハイトーンボーカルと、キャッチーでストレートなツインギターサウンドが魅力的な楽曲だ。

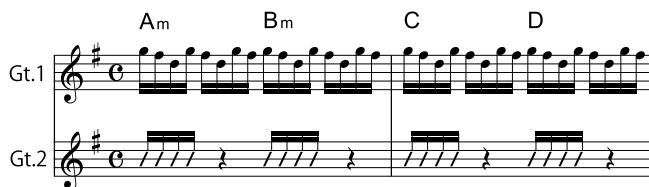
考えられた 2 本のギターのパート分け・・・

この楽曲の 2 本のギターは、主にドラムやベースとの一体感に重きを置いたパートと、メロディーに絡むような単音フレーズをメインに弾くパートに振り分けられている。アルバムに収録されているバージョンでは、聴感上左右にはっきりと振り分けられているわけではないが、ライブではこの 2 パートを 2 人のギタリストが弾くことで、お互いが出す音の輪郭がぼやけることもなく、楽曲のパワーを増す大きな要因となっている。

オープニングは、歌とそれに絡むギターのアルペジオで、優しい雰囲気の中楽曲が始まる。後半からドラムとベースがリズムを刻み始め、勢いのあるギターソロへと続くが、その勢いを助けるかのように、もう 1 本のギターがドラム、ベースとのリズムの一体感を意識したパワーコードでのバックギングをして、楽曲全体のスピード感を演出している。そして、次の A メロでは、ソロを弾いていたギターは勢いのあるフレーズからロング・トーン主体のフレーズに移行して楽曲のイメージを優しいものにし、もう 1 本のギターは、パワーコードをミュートしながらベースと一体となったリズムを刻むこと

で、イントロからのスピード感を維持しながらも、タイトなリズムを強調している。2 本のギターのフレーズが、楽曲の流れを作っていることがわかるだろう。

また、サビ前の B メロでは、ベースとバックギングメインのギターが休符を生かしたリズムパターンを弾いてグルーブに変化をつけているのだが、もう 1 本のギターがその前のセクション後半から高い音域の繰り返しフレーズを弾き続けることで、これまでのグルーブ感を極端に崩すことなく、次に来るサビへスムーズに持っていっている（譜例）。そして、ようやくサビでは 2 本のギターが打って変わってユニゾンのバックギングプレイをするのだが、これによってサウンドに厚みが出て、サビの雰囲気にマッチした盛り上がりを出すことができているのだ。



譜例 Gt.1 は Gt.2 のコード感を崩さないように音を選ぶ

ギターのサウンドメイキング・・・・・・・・

ツインギターの場合、2 本のギターのキャラクターを変えるのも 1 つの方法だが、このような楽曲においては、サウンドの重厚感を出すためにあえて同じ方向性のサウンドを出すギターを選ぶのも有効な手段だ。また、低音域から中音域までが豊かに出る「ハムバッカーピックアップ」搭載のギターがお勧めだ。

参考にするなら、この曲もオススメ！



SCORPIONS Blackout

ドイツのヘヴィメタル・バンド、スコーピオンズのアメリカでの人気を決定づけた、1982 年リリースの通算 8 枚目のアルバム。バックギングに徹するルドルフ・シェンカーとその上を自由に駆け巡るマティアス・ヤプスのツイン・ギターが印象的。



The Black Crowes Hard To Handle

アメリカのバンド、ブラック・クロウズの 2nd シングル。オーティス・レディングのカバー曲。70 年代のアメリカン・ロックを彷彿させる乾いた歪みと、似ているようでニュアンスが違う 2 本のギターのバックギングの絡み具合が絶妙。1990 年リリース。



KANA-BOON

涙

～ツインギターはお互いの「気配り」が大事～

2017年発売のメジャー4枚目のフルアルバム『NAMIDA』のタイトルトラックであるこの楽曲は、KANA-BOONの王道とも言える直球失恋ラブソングである。アップテンポのロック系のツインギターというと、重厚でヘヴィーなイメージが先行するが、この楽曲ではお互いのアプローチを意識しつつ、それぞれがフレーズを考えるという、ある意味での「気配り」がある。そのおかげで、無駄な重厚感を削ぎ落とした、軽やかな疾走感を生み出すことができているのだ。

お互いの絡みを意識したバックングアプローチ

イントロとエンディングでは、2本のギターが同じリズムパターンでバックングをしている。通常ではこのような場合、リフをユニゾンで弾いたりするのだが、ここでは1本がコードを、もう1本は音域が重ならないハイポジションでフレーズを弾いている。その結果、2本で同じリズムパターンを弾くという単調になりがちなアプローチが、それぞれの音の絡み具合の相乗効果でドライブ感のある印象的なものになっている。

1コーラス目のAメロは、基本的に2本とも2分音符、もしくは4分音符でコードを流している。しかし、片方がコードに9thの音を入れることで、同じタイミングで弾いてもコードの響きのレンジに幅が生まれている。これにより、コードを流すというシンプルなバックングにもかかわらず、コード感の広がりを出すことに成功していて、感情を少し抑えた歌にマッチした透明感のある空間を生んでいる（譜例）。

2コーラス目は、お互いの休符の部分にそれぞれがフレーズを弾いて、あたかも2本のギターで1つのパターンが成立するようなア

	D	A
Gt.1		
Gt.2		

譜例 add9（アドナインス）は、ポップス系サウンドによく使われるコード

プローチをしている。この計算された2本のギターの絡みが、ハーフになるリズムと相まってゆったりとしたグルーヴ感を生んでいる。そして、1コーラス目よりもややタイトでリズム的なものにすることができているのだ。

サウンドキャラクターを明確にする……

サビは、1本のギターがオクターブ奏法で8分音符を刻みながら高めの音域でメロディーに絡むようなラインを弾き、もう1本はコードをアルペジオで弾いている。もちろん、お互いのフレーズを意識しながらそれぞれのフレーズを構築しているのだが、お互いが似た歪み具合の音色で弾いてしまうと、音が干渉あって音像がぼやけてしまうことがある。

この楽曲では、オクターブ奏法をしている方のギターは気持ちの良いドライブサウンド、アルペジオの方は歪みに音が揺れるモジュレーション系エフェクターでワンテイスト加え、音が埋もれないようにしている。これでお互いの音が分離でき、オクターブ奏法で勢いをつけつつ、アルペジオでドライブするサビの中に広がりを出している。それが、サビに心地良い爽快感を生んでいる理由だ。

参考にするなら、この曲もオススメ！



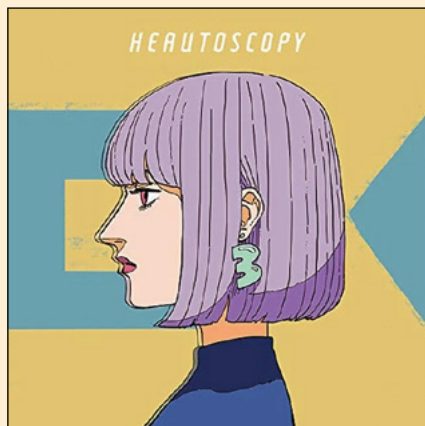
flumpool 星に願いを

幼なじみが母体の4人組ロックバンド、フランプールが2009年にリリースしたメジャー1stCDシングル。ベースと共にビートを支えるギターと楽曲の流れによって表情をつけるギターという、振り分けが明確に計算されたツインギターが印象的。



THE BLACK CROWES Sting me

1992年にリリースされたアメリカのロックバンド、ブラック・クロウズの2ndアルバム『The Southern Harmony & Musical Companion』に収録。一見セッションのようなラフに聴こえる2本のギターの絡みが絶妙で、楽曲をより盛り上げている。



ロック解体新書 ベース編

文・丸山知洋

すりい テレキャスタービーボーイ

～楽曲のスピード感を左右するベースプレイ～

ジャンルの垣根を越える作曲センスにより人気を誇るボカロP、すりいが2020年に発表したこの楽曲は、自身のYouTubeチャンネルで数千万回の再生回数を誇る代表曲だ。

DTMによる「打ち込み」を基本とした音作りながら、生演奏のギターやベースのサウンドも積極的に取り入れたバンド感溢れる楽曲を得意とするすりいだが、この楽曲ではギターサウンドを基本としながらもセクションごとに大きく変わるベースのアプローチによって、疾走感を自由自在に変化させているのが特徴だ。

フレーズの変化で表現するスピード感……

まず耳に入ってくる冒頭の4小節パターンのベースリフが、イントロからAメロまで一貫した8ビート基調のグルーヴを生み出している。しかし、よく聴いてみるとパターンの2回目だけ、2小節目の1拍目に16分音符でのオクターブ奏法を取り入れている(譜例)。そうすることで「ハネ感」が演出されるだけではなく、1拍目に「粘り感」も生み出されることとなり、どっしりとしたリフを印象づけることができる。

Bメロは、Aメロのグルーヴが継承されているが、4小節目には歌のメロディに合わせたキメが登場する。ビートに急激なブレーキをかけ、4つ打ちのドラムに合わせたオクターブフレーズから始ま



譜例 1小節目の1拍目もオクターブフレーズのグルーヴを意識して弾いてみよう

るサビのスピード感をより際立たせることに一役買っている。

サビは、16小節を前半と後半の8小節ずつに分けて捉えることができるのだが、前半の5小節目アタマにベースのグリッサンドを入れることで、さらに半分の4小節パターンを2回という構成に分割している。また、前半の7小節目ではハーフビートを挟み、8小節目をフルにフィルインとして使い、ジェットコースターのようなスピード感のあるアップダウンを巧みに演出している。

そして、後半の8小節でコードトーンのアルペジオを含むうねるような8ビートに変化することによって、楽曲を通してのスピード感の頂点へと達するのだ。

このような、楽曲を通してのスピード感やセクションごとの抑揚を意識して聴き込むことで、ベースフレーズへのこだわりもますます見えてくるだろう。

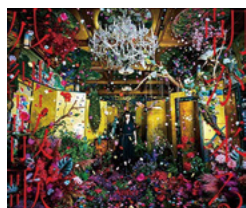
スピード感のコントロール……

スピード感という点で触れておきたいのが「テンポの変化ではない」という点だ。当たり前のように思えても、音を鳴らすタイミングは強く意識する上に音を鳴らしている時間はフレーズとして認識しやすいため、出している音の長さにムラが出ることは少ない。

しかし、この楽曲のように休符が含まれるセクションとまったく休符がないセクションが交互に来る場合は、意図せず休符の長さが短くなってしまったり、テンポ自体が速くなってしまったりする傾向にある。個人練習の時から十分な注意が必要だ。

ぜひ、休符も音符であるという認識で「長さを感じる」という挑戦をしてみると良いだろう。

参考にするなら、この曲もオススメ！



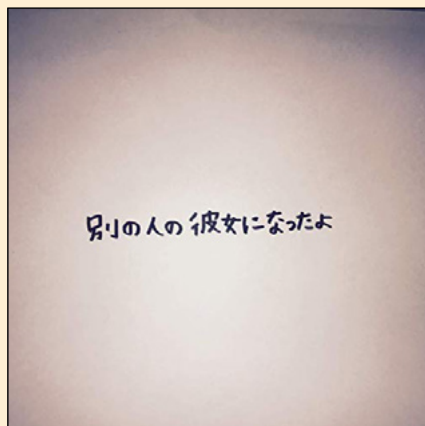
Aimer 残響散歌

日本の歌手 Aimer (エメ) の2022年にリリースされた、人気アニメ「鬼滅の刃 遊郭編」のオープニングテーマ。ドラムのビートに寄り添いつつサビでは歌メロに寄り添うなど多様なベース展開で楽曲に彩りを添えている。



Little Glee Monster 好きだ

ボーカルグループ、通称「リトグリ」の4thシングル。主にシンセベースが使用されているが、セクションごとに役割が変わるベースプレイは終始グルーヴするダンスブルなフレーズとスピード感のコントロールが逸品。2015年リリース。



wacci

別の人になったよ

～歌とリズムを包み込むベースライン～

日本のポップロックバンド、ワッチの、4ヶ月限定配信シングルの第2弾として作られた楽曲。2018年に発表されてから未だに根強い人気を保ち、YouTubeの動画再生回数が3000万回を超える、バンドの代表曲の1つになった。楽曲を通して「ハーフタイムシャッフル」と呼ばれるハネたリズムを使用することで、聴いていて心地の良い楽曲に仕上がっている。ベースラインはシンプルな作りだが、ボトムに重点を置くことで歌とドラムを支える「ベースらしい」構成になっている。

セクションごとに変化するベースライン・・・

この楽曲のベースラインは、ルート音のみで構成してることが多く、とてもシンプルな印象だ。これは、メロディーや歌詞などを聴きやすくするだけでなく、バンドアレンジの演出を高める効果もある。例えば、Aメロでは全音符でコードの移り変わりだけを弾くことで、存在感を出しつつも歌詞を聴き取りやすくしているのだが、Bメロではとぼとぼと歩くようなドラムと共に、コードトーンなどを入れて少しだけメロディーと絡む4分音符気味のフレーズになっている。そうすることでセクションにメリハリができ、サビでの「♪だからもう会えないや、ごめんね」という歌詞が、バンドの一体感と一緒に8ビートのリズムに乗って、胸に切なく迫ってくるのだ。

本来、ベースというのはコードのルートを支える楽器なので、下手に音数を多く弾くと歌やリズムに悪影響を与えてしまうこともある。この楽曲のベースラインは「歌いながら弾けるようなフレーズ」であるため、歌を最大限に生かすことができているのだ。練習する

時は、歌を口ずさみながらベースを弾いて、セクションごとの歌との絡みを意識してみると良いだろう。

「ハネ感」のコントロール・・・・・・・・・・

この楽曲のリズムは、ハーフタイムシャッフルと呼ばれる16分音符がハネたものののだが、ベースラインはあまり16分音符を入れずに、ハネを感じさせないフレーズになっている。これは、ギターやドラムが16分音符を入れてハネを強調しているのに対し、ベースは細かい音を入れないことでバンド全体のバランスを取り、ハネ感が強く出すぎないようにしているためだ。3連符の軽やかな「シャッフル」リズムを全員でやってしまうと、楽曲全体の印象が大きく変わってしまう。この楽曲では、切なくメッセージ性の強いボーカルをなるべく邪魔しないように、ベースでハネ感をコントロールし、重くドッシリした印象にしているのだ。

もちろん、16分音符もところどころに入っているのだが、これはどちらかというと、感じているリズムが「思わず出てしまった」結果だと言えよう（譜例）。演奏する時は、全編を通してギターとドラムのハネたフレーズを意識しながら弾くように心がけよう。



譜例 サビの冒頭のベースライン。他の楽器をイメージしながら16分音符を弾いてみよう。×印はタッチミュート

参考にするなら、この曲もオススメ！



CARPENTERS Close to you

世界を代表するアメリカのバンド、カーペンターズの代表曲の1つ。ボーカル&ドラムのカレン・カーペンターの歌とリズムのバランスが素晴らしく、それに乗るベースラインも音数が少ないながらも自然に歌を支える匠な技だ。1970年リリース。



SUPER BUTTER DOG サヨナラCOLOR

現在ハナレグミとして活動している永積タカシ（Vo）が所属していたバンド、スーパー・バター・ドッグが2001年にリリースしたシングル。緩やかなハネたリズムの中、シンプルながら16分音符のタイミングが絶妙なベースラインは必聴。



sumika

ふっかつのじゅもん

～ 3つのジャンルが融合するベースフレーズ～

「ふっかつのじゅもん」は、sumika（スミカ）が2014年にリリースしたアルバム『I co Y』に収録されている楽曲だ。sumikaは正式メンバーにベーシストがいないバンドとしても知られるが、この楽曲はバンドらしい一体感のあるグルーヴとブッシュするような「前ノリ」のリズムが特徴的だ。それに加え、ところどころに出てくるスカ、レゲエ風なグルーヴも聴く人を飽きさせないアレンジで面白い。ベースラインも、ロックなセクションにスカやレゲエのフレーバーがうまく融合されていて、スピード感のあるバンドグルーヴを支えている。

ブッシュするロックなベースのリズム・・・

楽曲全体は、スピード感と勢いを重視したグルーヴになっていて、聴く者に高揚感を与える。その軸はリズム隊にあり、ドラムとベースが前に前にとブッシュするように演奏することで勢いのあるグルーヴを作り出している。このような「押せ押せ」なリズムを作り出すには、ジャストのタイミングよりも少し前にいる意識を持ちながら弾かなければならない。試しに音源をメトロノームと合わせて聴いてみると、少しバンドの演奏がズレて速く聴こえる部分がある。そこがバンドがブッシュしている箇所だ。

また、フレーズにアクセントをつける場所も、スピード感が変わってくる重要なポイントだ。例えば、この楽曲のイントロやサビのような8ビートの場合には、1拍目と3拍目にアクセントをつけて弾いているのだが、Bメロではシンコペーションしている部分にアクセントをつけ、さらにそこを少し速めに弾いている。そのため、前のめりなスピード感が飛躍的に増している。フレーズはビートとの

関係性をどのように演奏するかによってグルーヴが変わってくるという好例だろう。

裏拍から入るトリッキーなベース・ライン・・・

Aメロでのベースラインは、ブッシュするロックなグルーヴとは違って、裏拍から始まるトリッキーなフレーズになっている。これは、ジャマイカ発祥の音楽である「スカ」などのジャンルによく使われるパターンで、2コーラス目のAメロで出てくるフレーズも、同じジャマイカ発祥の「レゲエ」をイメージしたグルーヴだ。この楽曲は、それらをうまく融合させてアレンジされており、ベースラインもジャマイカ音楽の特徴を意識した裏拍から始まるフレーズになっている。それによって、通常のロックフレーズとは違った印象になっているが、頭が休符になっているのでリズムがしっかりと取れていないと難しいだろう。

コード進行は、A♭キーに対して2度のB♭mと5度のD7の繰り返しなのだが、ベースのフレーズはB♭マイナースケールなイメージで弾いている。コードを支えるというよりも、リフに近いイメージにすることで楽曲を引っ張っている感じだ（譜例）。演奏する時は、マイナースケールの音を意識しながらリフを弾く気持ちを持つと良いだろう。



譜例 A♭キーやコードトーンではなく、B♭マイナースケールを意識しよう

参考にするなら、この曲もオススメ！



東京スカパラダイスオーケストラ めくれたオレンジ

日本では珍しいスカバンド、「スカパラ」がオリジナル・ラブの田島貴男をゲスト・ボーカルに迎えた楽曲。いわゆるスカのグルーヴになっているので、メロコアやスカコアバンドの楽曲と比べてみても楽しい。2001年リリース。



SNAIL RAMP MIND YOUR STEP!

日本を代表するメロコアバンド、スネイル・ランプが1999年にリリースした2ndシングルで、彼らの代表曲の1つ。ロックなサウンドとスカのグルーヴがうまく融合されている。ドラムとベースのブッシュするビート感がカッコイイ！

ロック解体新書 ドラム編

文・辻 伸介



結束バンド 星座になれたら

～楽曲を支えるハイハットワーク～

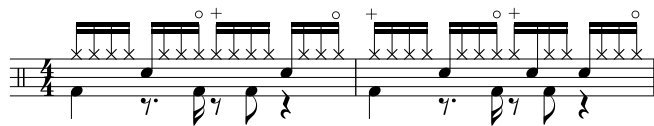
2022年に放送されたテレビアニメ「ぼっち・ざ・ろっく！」の劇中歌「星座になれたら」は、登場する主人公が結成するバンド、結束バンドのレパートリーだ。同年に配信限定シングルとしてリリースされ、1st アルバム『結束バンド』にも収録されている。

楽曲自体は16ビートの軽快なアレンジになっていて、爽やかなポップソングに仕上がっているが、原作に沿ってツインギター、ベース、ドラムというキーボードが入っていない編成でのダイナミクスは、ドラムのフレージングとプレイによるところも大きい。

16分音符でダイナミクスをつける……

この楽曲は軽快な印象があるが、テンポは♩ = 123と意外と速くない。それでも駆け出したくなるような疾走感を感じるのは、ギターの鋭いカッティングに代表される「16ビート」にある。

ドラムもイントロからハイハットは16分音符で小粋に刻まれているが、バスドラムのパターンは基本的に4分音符だ。しかし、Aメロはハイハットワークのニュアンスはそのままに、バスドラムでも16分音符が入ってくる（譜例）。すなわち、楽曲を通してAメロが最も音数が多いのだ。それは、ギターバンドのアレンジ方法の1つとしてダイナミクスをつけるためにAメロではあまりギターを目立たせず、騒がしいイントロから落ち着いたAメロへ移行したい



譜例 ハイハットのプレイは少しライブ感がある、良い意味で雑な演奏になっている

のだが、16ビートの躍動感は欲しいのでベースとドラムがそれを担っている…というアレンジなのだ。また、同時にそのアレンジは休符が多く少しネガティブなAメロの歌詞を引き立たせる効果もある。ちなみに、2コーラス目のAメロは解き放たれたサビを一度超えているため、歌い方や楽器のアレンジはアクセントをユニゾンするなど元気なものになっている。

他のセクションのドラムは、Aメロに比べると音数が少ない。Bメロは裏拍の8分音符にアクセントをつけた「裏打ち」、サビや間奏ではそれをハイハットオープンにした「裏オープン」と呼ばれるパターンが基本系だ。ソロ後の大サビや落ちサビも、多少アレンジはしているが裏拍にアクセントをつけたパターンとなっている。しかし、どのセクションもグルーブは一貫して16分音符を主体とした16ビートであり、それが損なわれるとサビでの開放感や感情の高揚感は失われてしまう。演奏する時は注意が必要だ。

イマドキなタイトさの中にある人間味……

この楽曲に限らず、結束バンドのドラムは緑黄色社会のサポートなどで知られる比田井 修（ひだい おさむ）がレコーディングしている。一聴するとDTMで打ち込まれたのかと思うほどタイトで正確なプレイだが、特にハイハットワークに関しては良い意味でループ感を感じない人間味がある。

アニメの登場人物がプレイしている体なので当然だが、少し古めかしい音作りも含め、イマドキの歌モノ系ドラムのお手本のようなプレイともいえるかもしれない。コピーする場合は、完コピを目指すよりも基本形を大事にした自由なプレイが望まれるだろう。

参考にするなら、この曲もオススメ！



Earth, Wind & Fire Getaway

アメリカのバンド、アース・ウィンド＆ファイヤーの12thシングル。ファンクミュージックの代表作。リズム隊、ギターカッティング、ホーンセクションの緊張感たっぷりのソリッドな演奏は世界中を踊らせた。1976年リリース。



UNISON SQUARE GARDEN シュガーソングとビターステップ

高度な演奏技術に定評のある3ピースバンド、UNISON SQUARE GARDENの2015年にリリースした楽曲で、アニメのエンディングテーマとして書き下ろされた彼らの代表曲。疾走感のあるハイハットワークやキメが気持ち良い。



RiSA 紅蓮華

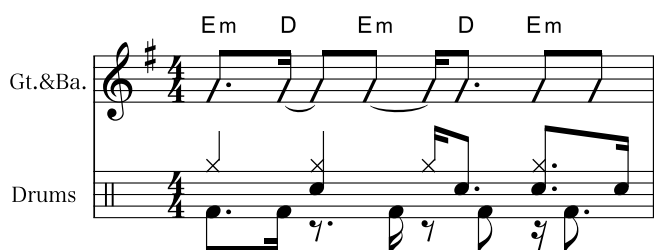
～「打ち込み」と融合するドラミング～

「紅蓮華」は、今やアニソンの絶対的女王として君臨する RiSA (リサ) の、2019 年 7 月にリリースされた 15 枚目のシングルだ。テレビ・アニメ「鬼滅の刃」のオープニングテーマとして起用され、その激しさと静寂を行き来するアレンジは、物語のドラマチックさともリンクして高い人気を得た。パソコンによるシーケンス（打ち込み）とドラムをはじめとした生楽器との融合も、世界観を表現する重要なポイントだ。

リフとアクセントをずらしたドラムパターン

ギターのリフが印象的な楽曲の場合、ドラムもそのリフを意識したパターンになることが多い。それは、打楽器としてアクセントを付けることによって、リフの輪郭を際立たせるためだ。もちろん、ドラムには 4 分音符のビートや 2 拍 4 拍のバックビートなど、様々なリズムを供給する役割りもあるため、この楽曲のようにシンコペーションが多く独自のリズムを持っているリフの場合、両者のバランスを取ることが大切になる。

この楽曲のリフは、ヘヴィーロックの要素を持った半拍半フレー



譜面 リフ（上）のリズムとドラムのアクセントのズレに注意しよう

ズをギターとベースがユニゾンで弾いている。しかし、ドラムはそのリフのリズムとは少し違うパターンでバスドラムを踏んでいる（譜例）。必ずしもリフのリズムとバスドラムが合っていなければならないというわけではないし、その外し方が新たなグルーヴを生むこともあるが、この楽曲の場合はドラムのパターンを重視した結果の産物だろう。ある意味、シーケンスによるドラムループのように捉えることもできるが、全体的に 1 つにまとまると、かつて良いバンドアンサンブルになる。

ほんの些細な違いだが、ドラマーはリフを口ずさんでいると演奏しにくくなるかもしれないので、少しパターンに集中した方がキープして叩きやすいだろう。しかし、たまに出てくるキメはリフのリズムとユニゾンしているので注意が必要だ。また、そんなアクセントが多くなるアレンジに対して、しっかりとビートを刻む 4 分音符気味の右手パターンも、全体をまとめる大切な要素となっていることも忘れてはいけない。

静と動を表現するドラムアレンジ・・・

「打ち込み」と生楽器との融合は、ポップスからラウドロックにいたるまでよく使われている。しかし、この楽曲のようなドラムループと生ドラムが交互に出てくるアレンジは、機械的で無機質なクールさと人間的な躍動感のコントラストを演出することに大きな効果を生んでいる。

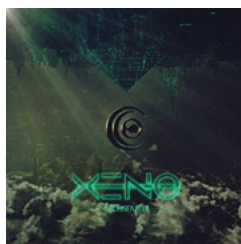
シーケンスを使わずに生ドラムだけで演奏する場合、歌詞の内容や歌い方、他のパートのアレンジともリンクした「静と動」を意識して、感情の移り変わりをしっかりと表現することを考えよう。

参考にするなら、この曲もオススメ！



TOTO Girl Goodbye

アメリカの若手売れっ子スタジオミュージシャンによって結成され、1977 年にデビューしたトトの 1st アルバムに収録されているロックンバー。リフを少し外しながらグルーヴを損なわないドラミングが秀逸。エンディングの大ユニゾンは圧巻。



Crossfaith Devil's Party

世界に向けて日本のラウド・ロック・シーンを牽引するメタルコアバンド、クロスフェイスの 2015 年リリースの 4th アルバム『XENO』に収録されている楽曲。ヘヴィーなサウンドにデジタルサウンドやキャッチーさがうまく融合している。



ロック解体新書 ドラム編

文・辻伸介

森 七菜 スマイル

～元気になるドラムパターン～

今後の活躍が期待される若手女優の1人、森七菜の初めての配信限定リリースとなるシングルが、この「スマイル」だ。出演するコマーシャルのために冒頭の30秒ほどがレコーディングされていたが、好評によりフル・バージョンが録音された。原曲は、日本のポップデュオ、ホフディランのデビューシングルで、1996年にリリースされている。今回のカバーも彼らがプロデュースしているのだが、森バージョンはコロナ禍の日本に勇気を与えてくれるような、時代にマッチしたアレンジとなっている。そのポイントの1つが、ドラムのパターンにもある。

2つの王道パターンの違い・・・・・・・・・・

ホフディランの原曲は、バブル崩壊期当時の倦怠感を表したような、少し気だるい印象がある。一方、森バージョンはハツラツとした若さと明るさがあるのだが、それは清涼飲料水のコマーシャルに使用されていることや、森の元気一杯なキャラクターによるものだけではない。

原曲の基本的なドラムパターンは、「ゴールデンリズム」や「黄金パターン」などと呼ばれているものだ（譜例1）。どんなジャンルのどんな音楽にもピッタリとハマることからそう呼ばれているが、2拍目裏と3拍目頭にバスドラムが8分音符で連打されていることが特徴だ。簡単そうに見えて表現の方法が多い分、ある意味最も難しいパターンと言える。森バージョンでは、1コーラス目のAメロだけに使用されているが、他のセクションは3拍目の8分音符を表も裏も演奏する王道の8ビートパターンになっている（譜例2）。どちらもドラム初心者がまず初めに取り組む基本的パターンだが、この違いが原曲のゆったり感と森バージョンの元気良さに大きく関係

しているのだ。

譜例1のパターンは、2拍目裏のバス・ドラムが3拍目のダウンビートの印象を強め、1、3拍目が4分音符の長さを保ち2拍子のような大きなリズムを感じさせる。原曲や森バージョンのAメロが、どこか牧歌的なほのぼのした感じがするのはこのためだ。それに対し、譜例2のパターンは3拍目裏のバスドラムが4拍目のスネアのタイトさを強調するため、8ビートのイケイケ感が明るい元気良さとして表れている。バスドラムの位置1つでも、ドラムから受ける印象が変わるという好例だろう。



譜例1 2拍目の裏にバスドラム



譜例2 3拍目の裏にバスドラム

「元気ハツラツ」なアレンジ・・・・・・・・・・

シンプルなフレーズなのに聴く人を飽きさせないためのポイントはいくつかあるが、森バージョンは原曲に比べてテンポが110から124に上がっている。これだけでもかなり元気の良い印象になるが、休符が多い他パートのユニゾンリズムやクラップのリズムなどがドラムパターンと違い、複雑なリズムアレンジとなっていることも重要だ。

この楽曲を演奏する場合は、一打一打をはじけるように叩くことと、しっかりと4分の4拍子を感じながら4拍目のスネアでジャンプするイメージで演奏すると良いだろう。

参考にするなら、この曲もオススメ！



Billy Joel Uptown Girl

アメリカの世界的なシンガーソングライター、ビリー・ジョエルの大ヒットアルバム『An Innocent Man』からの第2弾シングル。上流社会の女性を射止めようとする男の前向きさと街を闊歩するようなドラミングが元気満点。1983年リリース。



KAN 愛は勝つ

8枚目のシングルとして1990年にリリースされ、その年の数々の賞を獲得した日本のシンガーソングライター、KANの代表曲。ビリー・ジョエルの「アップタウン・ガール」を意識したというアレンジは、ドラムのパターンにも表れている。



マカロニえんぴつ はしりがき

～ロックキーボードの王道アレンジ～

2013年からインディーズで活動していたマカロニえんぴつが、2021年にメジャーデビュー第1弾シングルとしてリリースした楽曲が、この「はしりがき」だ。

この楽曲は、同年公開のアニメ映画『クレヨンしんちゃん 謎メキ！花の天カス学園』のために書き下ろされており、青春をテーマに描かれた詞の世界と様々なに変化するビートにのったメロディで、王道なアレンジでありながらもマカロニえんぴつらしいポップなナンバーに仕上げられている。

バックアップピアノのスピード感あるグルーヴ

この楽曲ではピアノが全体のアレンジの要になっていて、コードでのバックアッププレイやオブリガートなど重要な役割をしている。歌い出しのAメロ部分は8分音符のキザみで演奏されているが、音価を意識した演奏でグルーヴが出ている。譜面にすると単なる8分音符なのだが、ビート感のあるこういったスタイルの楽曲らしくスタッカートのような弾き方で演奏されている。また、少しだけ8分音符の裏拍にアクセントを付けることで、楽曲にスピード感が増すグルーヴを作り出している。

Bメロでは全体のキメがあるが、このようなキメをうまく合わせるために弾くタイミングよりも休符をしっかりと感じていることがわかる（譜例）。普通に譜面に書けば譜例①のようになり、休符は4分休符となるが、これを譜例②のように8分音符のフレーズのまま8分休符で感じること、同様に2小節目の2拍目16分音符裏のキメの後もそのまま16分休符で感じることが大事だ。

演奏する際に、キメで走って（テンポよりも速くなってしまうこと）

しまわないためには、このように休符をどう感じるかが重要なポイントだ。

E $\flat$ Δ 7 F7 B $\flat$ Gm7

①

E $\flat$ Δ 7 F7 B $\flat$ Gm7

②

譜例 休符をどう感じるかがキメのポイント。①と②を弾き比べてみよう

オルガンの音色はセッティングが大事……

この楽曲はロックキーボードとしての王道な音色であるピアノとオルガンで演奏されている。オルガンは最も代表的なエレクトリックオルガンメーカーである「ハモンド」で、ロックサウンドの王道な音色だ。

ハモンドオルガンは、元々パイプオルガンの代わりとして1934年に発明された鍵盤楽器で、パイプオルガンのようにパイプに空気を送るのではなく、9本の「ドローバー」を使ってオクターブ、3度、5度といった倍音を混ぜ合わせ様々な音色作りをする。この楽曲では上の倍音が比較的多く入ったセッティングの音色になっており、サビのコード弾きでの演奏は歪んだギターとうまく混ざり合い、全体のボルテージが上がる効果を生み出している。

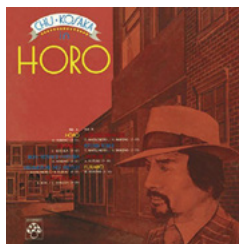
現在のシンセサイザーでは、各メーカーからドローバーを搭載したモデルもたくさん出ていて、視覚的にもハモンドオルガンの音作りが行いやすい機種が多数ある。

参考にするなら、この曲もオススメ！



Billy Joel Scenes From An Italian Restaurant

1977年にリリースされたアメリカのシンガーソングライター、ビリー・ジョエルの大ヒットアルバム『The Stranger』に収録された楽曲。組曲のように様々なに変化するメロディとビートの中でビリーのピアノバックアップが冴えわたる。



小坂 忠 氷雨月のスケッチ

シンガーソングライター、小坂 忠の4thアルバムで日本初のR&B／ソウルアルバムとして評価が高い『HORO』に収録。リズムミクしたピアノバックアップとオブリガートを織り交ぜた全音符のオルガンの音色が特徴的。1975年リリース。



藤原さくら 春の歌

～アレンジによって異なるキーボードの役割～

この楽曲は、2017年にリリースされた、シンガーソングライター、藤原さくらの2ndシングルに収められていて、映画「3月のライオン 後編」の主題歌にもなっている。スピッツの名曲のカバーだが、原曲のスピード感あふれるアレンジとは異なり、どこか懐かしいノスタルジックなアレンジが印象的で、透明感のある歌声とのバランスも良い。その心地良さの一端は、キーボードパートが担っている部分も多い。

サビの後ろで支える重要なストリングスフレーズ

スピッツの原曲との大きな違いは「リズム」にある。原曲は16ビートなのに対して、こちらのバージョンはハネた「シャッフル」のリズムになっていて、テンポも少し遅めなゆったりとしたアレンジだ。そして、このアレンジに合うように使われている鍵盤楽器が「オルガン」と「メロトロン」なのだが、サビには「ストリングス」も入っていて、メロディーの後ろで流れる重要なオブリガートとして登場する。

サビのストリングスは、メロディーの隙間を縫うように4小節で1つのフレーズになっているのだが、このフレーズで大事な



譜例 サビのストリングスフレーズ

は、裏拍のアクセントだ（譜例）。1、2小節目の3、4拍目のフレーズがそれぞれ裏拍から始まっているのだが、1小節目の3拍目裏の「ミ」にアクセントをつけることで、次の「ファ #」に勢いがつき、さらに「ファ #」をスタッカートで弾くことによって、フレーズに表情が生まれている。また、4小節目もしっかりとアクセントをつけてスタッカートで弾かれていることにも注目したい。コピーする場合は、バイオリニストが感情豊かに演奏してる場面をイメージしながら弾くと良いだろう。

後半は、さらに「ブラス」も加わって、エンディングに向けて盛り上がっていくのだが、このようなブラスとストリングスを右手と左手で交互に弾くフレーズの練習としては、バッハの「インベンション」がお勧めだ。

大サビで出てくる鍵盤楽器「メロトロン」・・・

大サビで聴こえる不思議な笛のような音色が「メロトロン」という楽器だ。メロトロンは1960年代に開発された鍵盤楽器で、あらかじめ収録された音色のテープを鍵盤を弾くことによって再生させる、言わば「サンプラー」の元祖のような楽器だ。テープを再生して発音するため、持続音はせいぜい6秒から8秒までしかない。また、鍵盤を離すとテープが巻き戻る仕組みになっているので、速いフレーズを弾くとテープの再生が間に合わず発音されないこともあるため、楽曲の中ではゆったりとしたフレーズに使われることが多い。

代表的な音色としては、この楽曲の中で演奏されている「フルート」の他に、「バイオリン」「コーラス」などがある。

参考にするなら、この曲もオススメ！



UNICORN 大迷惑

ユニークな楽曲が多い日本のロックバンド、ユニコーンの1987年に発売された1stシングル。サビの後ろでゆったりと流れるストリングスや、オーボエ、フルートによる様々なオブリガートなど、フルオーケストラ編成のアレンジが豪華。



The Beatles Strawberry Fields Forever

イギリスのロックバンド、ザ・ビートルズの14thシングル。J・レノン（Vo,Gt）が幼少時に過ごした街の思い出を綴った名曲。P・マッカートニー（Vo,Ba）が弾くメロトロンの「フルート」の音色が郷愁を誘う。1967年リリース。



amazarashi 少年少女

～混沌とした世界観を描き出すキーボード～

amazarashi は、メッセージ性の強い歌詞が強力な個性を生み出している青森県在住の秋田ひろむ (Vo&Gt) と豊川真奈美 (Key) によるユニットだ。この楽曲は、2021 年にリリースされた 7 枚目のシングル『境界線』に収録されているが、作品としてはインディーズ時代から演奏され、ファンの間では名曲の呼び声が高いナンバーでもある。思春期の激しい心の葛藤や、懐かしい風景描写などの歌詞にマッチするシンセサイザーの音色と、時に力強いピアノのリフが楽曲のアレンジを際立たせている。

躍動感や浮遊感を作り出すプレイ・・・・

混沌とした歌詞の世界が綴られる中で、各セクションごとにキーボードの音色が切り替わっている。特徴的なのは最初の A メロで、ドラムがそれまでトリッキーに叩かれていたパターンからバスドラムの 4 分打ちが変わった時に、全音符系のシンセパッド中心だった演奏からオルガンがバックিংをリードするアレンジに変化している。このオルガンの音符の長さが重要な役割をしていて、休符を入れることで躍動感を出し、4 分打ちのバスドラムとのアンサンブルにスピード感をもたらしているのだ。さら

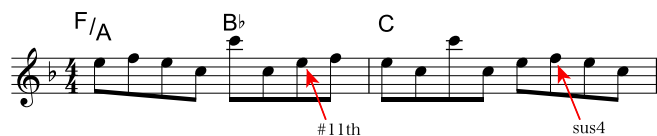
には、徐々にサビに向かっていく盛り上がりも演出している。

もう 1 つの特徴は、楽曲の浮遊感を出しているイントロや間奏などでプレイされているピアノのフレーズだ (譜例)。場所によっては変奏されているが、基本的にこのパターンで演奏されている。注目すべき点は、コードが B $\flat$ の時のミの音が #11 度 (シャープイレブンス) というテンションノートで、非常に強い緊張感を出していることだ。また、コード C の時のファの音は 4 度 (サスフォー) の音なので、コード感を希薄にして浮遊感につながるフレーズとなっている。このフレーズが繰り返し演奏されることで、全体的に統一された雰囲気が出ているのだ。

シンセパッドを中心とした音作り・・・・

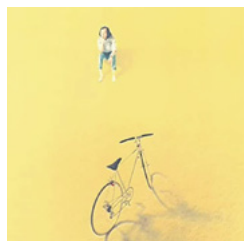
この楽曲で使用されている主なキーボードの音色は、ピアノ、シンセパッド、ベル系、オルガンだ。中でも、全体を通して演奏されているのが「シンセパッド」という、音の隙間を埋める持続音なのだが、例えばイントロは、8 分音符のリズムを刻むベル系の音とシンセパッドで構成されている。シンセパッドは楽曲のコード感を支配しているが、そこに無機質なオルガンの音色や有機的なピアノの音色が重ねられ、楽曲の盛り上がりを作っている。

実際に、複数の音色を同時に演奏する場合は、シンセサイザーの「スプリット」機能を使うと良い。「パフォーマンス」「コンビネーション」などと、呼び方はメーカーによって違うが、鍵盤の領域に様々な音色を分けて配列させることができる。ぜひ挑戦してみよう。



譜例 コードの構成音にない音を使ったアルペジオフレーズ

参考にするなら、この曲もオススメ！



山下達郎 蒼氓

シンガーソングライター、山下達郎の 9th アルバム『僕の中の少年』に収録。シンセサイザーのアルペジオが印象的。同じフレーズにルート音を変えていき、コードのテンションとして緊張感と浮遊感を出している。1988 年リリース。



Peter Gabriel Blood Of Eden

イギリス出身のシンガーソングライター、ピーター・ガブリエルが 1992 年にリリースしたアルバム『US』に収録。民族的なリズムの上に漂うシンセパッドの音色が心地良い。シネイド・オコナーとのデュエットも話題になった。



「簡単に楽典を学びたい」と考えている女子高校生ギタリスト、歌田メイ。そしてメイの近所に住んでいて楽典に詳しい謎のロックおやじ、半ズボン先生。メイの兄で先生の一番弟子、歌田ダンとの3人。彼女たちと一緒にマンガと文章による解説で楽しく楽典を学びましょう！

著者：辻 伸介／作画：梶田道也

マンガでわかる!
ロック楽典
キャラクター紹介

歌田メイ

音楽とギターをこよなく愛する軽音楽部所属の女子高校生。師匠とアニキのちょっと変わったレッスンから、楽典を部活動やバンドに役立てようと思っている。



半ズボン先生

メイの近所に住む楽典マスター。本名や年齢、経歴などプロフィールは一切謎だが、楽典を「ロック」に教えてくれるメイの師匠。音楽的「格言」が好き。

歌田ダン

メイの兄で、音楽にも詳しい。ギターやバンドをもっと楽しんでもらうためにメイを半ズボン先生に紹介。ちょっと抜けてる先生のサポート的存在。



スケールあれこれ

みなさ〜ん、今回は
楽器を用意して
読んでください
だぞ〜

先生、準備よし
だぞ

よろしい

今回は、いろいろな
スケール(音階)を
勉強するぞ

まずは、1オクターブ
12コの音を そのまま
並べたスケールだ!

これはクロマチック
スケール(半音階)と
いう名前が付いておる

クロマチックスケール



すべて半音でとなり合っ
てますが、すべての音を
曲中で使っている訳では
ありません

メイ、半音
2つ分を
何と言う?

全音
だぞ!

続いては、
すべて全音で
となり合っている
**ホールトーン
スケール**
(全音音階)だ!

ホールトーンスケール



「鉄腕アトム」の主題歌のイントロは
ホールトーンスケール、歌いだしは
クロマチックスケールだ

普通じゃない
スケールが
とても
未来的だ!!



ふむふむ

そして全音と半音で隣り合う
部分を両方持っているのが
ダイアトニックスケール
(全音階)だ。

これには
メジャーと
マイナーがある

Cメジャー(ダイアトニック)スケール



Cマイナー(ダイアトニック)スケール



調性のとれた
音楽の基本と
なるスケール
だ

いやー、今日は
たくさん勉強
しただぞ!

バカモン!!

本題は
ここからだ

ダイアトニックスケールは、
7音でできている。
クロマチックスケールは12音、
ホールトーンスケールは6音だ

しかし世の中には、ほかにも
たくさんのスケールがあって
中でもよく使うスケールの
音数は……

「5」だ

Cメジャー
ペンタトニックスケール

Cメジャースケール

C D E F G A B C

C D E G A C

ダイアトニック
スケールの半音で
となり合っている
音をけずって
みるとこうなる

5つの音でできている
スケールはたくさんある
が、これが最も有名で
ロックでもよく使う
**ペンタトニック
スケール**だ

Cマイナー
ペンタトニックスケール

Cマイナースケール

C D E F G A B C

C E F G B C

ペンタとは
ギリシャ語で
「5つ」「5角形」
という意味です

アメリカ国防総省
通称ペンタゴン

※ペンタゴンは
英語で「5角形」

メイ、それぞれ
何度の音が
抜けている？

C D E F G A B C
1 2 3 4 5 6 7 8

C D E F G A B C
1 2 3 4 5 6 7 8

ん～

メジャーペンタは
4度と7度、
マイナーペンタは
2度と6度が
抜けてるだぞー！

そうだ。

ということはAマイナー
ペンタは「ACDEG」と
なりCメジャーペンタと
同じ構造になる

Aマイナーペンタトニックスケール

A C D E G A

C D E F G A B C
A B C D

Cメジャーペンタ
をAから弾けば
Aマイナーペンタ
となる

わーっ！もう
いっぱいいっぱい
だぞー

ドラゴン

日本でもメジャー
ペンタを「ヨナヌキ」
と言って童謡や演歌で
よく使われておる

ついでに
言っておくと

メジャースケール
から2度と6度を
抜くと沖縄民謡に、
マイナースケール
から4度と7度を
抜くと昔の日本風
となる

沖縄(琉球)音階

C E F G B C

日本の軍歌や子守唄風

C D E G A C

他にもジプシー音階、
ハンガリアンマイナー、
ガムラン音階、
モード(教会旋法)、
それから……

こあ、だの、
ヘチク、
ヘチク

音楽は海よりも
深い——！

Ohー
クラッシュ
ガール

今回は
ちょっと
難しかった
ようです

スケールあれこれ

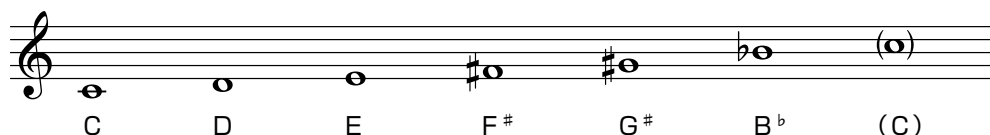
スケール・その3 その他のスケール

現在、世界では1オクターブを均等に12音に分ける**平均律**がクラシック、ジャズ、ロックといった音楽で多く使用され世界的に基礎となっています。しかし、その他にも世界中には独特の音律を持った民族音楽があります。それらを無理やり平均律に当てはめると異国情緒あふれた音階を再現することができます。

1. ホールトーン・スケール

ルートから全音でとなり合う音を並べたスケールです。日本語では**全音音階**と言います。

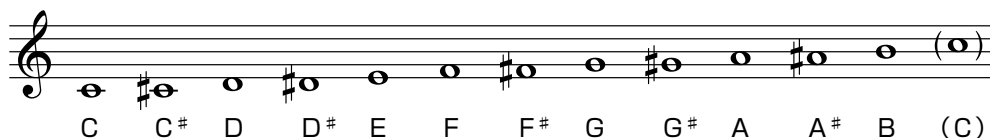
Cホールトーン・スケール



2. クロマチック・スケール

ルートから半音でとなり合う音を並べたスケールです。日本語では**半音階**と言います。1つの音階として楽曲の中で使うというよりも、一部分が結果半音で進行するという場合がほとんどです。

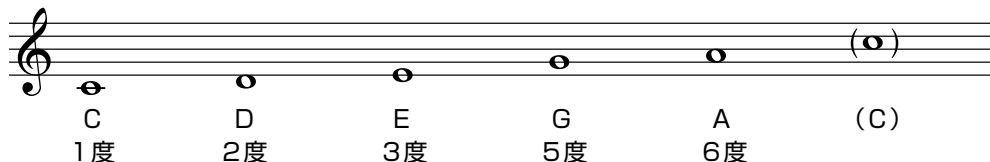
Cクロマチック・スケール



3. メジャー・ペントニック・スケール

「ペンタ」とは「5つ」という意味で、メジャー・ダイアトニック・スケールから、半音でとなり合っている4度と7度を抜いた5音で構成されているスケールです。**導音(リーディングノート)**である7度の音がなく、**アヴォイドノート(演奏で避けるべき音)**もないので、ある程度容易に使えるため世界中で使われているスケールです。

Cメジャー・ペントニック・スケール

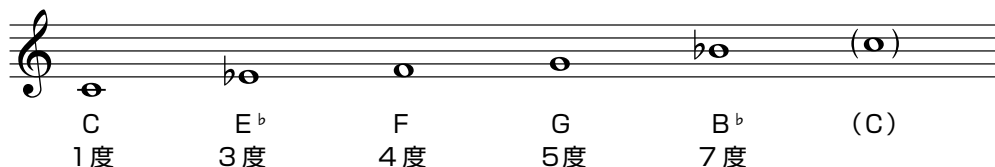


メジャーペンタは通称「ヨナ抜き音階」と呼ばれ、大正時代にクラシックの理論が日本に持ち込まれるまで演歌や童謡などに多く使用されていたスケールだ。このペンタと後に記すブルーノート(※94ページ参照)はロックにとって必要不可欠であり、ギターソロなどでこれさえとりあえずやっとならばロックっぽくなる…というぐらいロックの代名詞だ。そう考えると日本人の心にもロックの魂が共通項としてあったということか？

4. マイナー・ペントトニック・スケール

メジャー・ペントトニック・スケールの考え方と同じように、ナチュラル・マイナースケールから半音でとなり合う2度と6度を抜いた5音で構成されたスケールです。

例) Cマイナー・ペントトニック・スケール



メジャー・ペンタもマイナー・ペンタも半音でとなり合っている音が省かれていて、結果Cメジャー・ペンタとAマイナー・ペンタはまったく同じ構成音を持ったスケールになる。「平行調（※76ページを参照）」の考え方がペントトニック・スケールにも当てはまるということだ。

5. 教会旋法（チャーチ・モード）

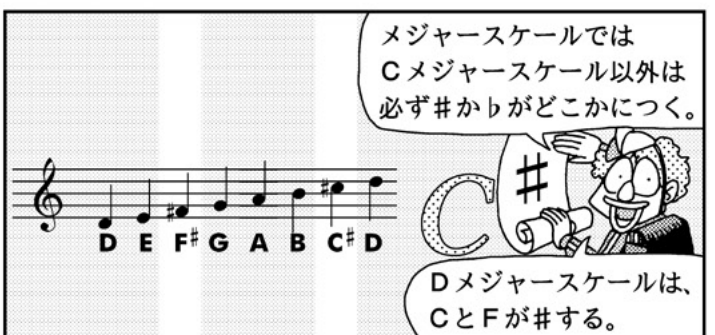
もともとはクラシック音楽の原形であるグレゴリオ聖歌から生まれたものですが、1960年代以降ジャズやロックでも1つのスケールとして使用されるようになりました。

スケール名	Cがルートの場合の使用音
イオニアン・スケール (Ionian) ※メジャースケール	C D E F G A B
ドリアン・スケール (Dorian)	C D E ^b F G A B ^b
フリジアン・スケール (Phrygian)	C D ^b E ^b F G A ^b B ^b
リディアン・スケール (Lydian)	C D E F [#] G A B
ミクソリディアン・スケール (Mixolydian)	C D E F G A B ^b
エオリアン・スケール (Aeolian) ※ナチュラル・マイナースケール	C D E ^b F G A ^b B ^b
ロクリアン・スケール (Locrian)	C D ^b E ^b F G ^b A ^b B ^b

6. その他の民族スケールの例

- ① 沖縄音階・・・メジャースケールから2度と6度を抜いたスケールです。1、3、4、5、7度で構成されます。沖縄地方の民謡でよく使われます。
- ② ハンガリアン・マイナースケール・・・ハーモニック・マイナースケールの4度を#させたスケールです。1、2、^b3、[#]4、5、^b6、7度で構成されます。ハンガリーなどの民謡でよく使われます。
- ③ スパニッシュ・スケール・・・フリジアン・スケールをメジャー3rdにしたスケールです。1、^b2、3、4、5、^b6、^b7度で構成されます。フラメンコやトルコ民謡などでよく使われます。
- ④ 陰旋法・・・ナチュラル・マイナースケールから4度と7度を抜いたスケールです。1、2、^b3、5、^b6度で構成されます。日本の昭和歌謡や演歌、軍歌などでよく使われます。

調号のナゾ解き



しかし曲の中に
C#とF#が出てくる
たびに#を書くのは
面倒だし見にくい。

※注:臨時記号は1小節間有効

Dメジャースケールでは
必ずCとFは#するのだから
譜面の最初に書いてしまおう
というわけだ

これを調号と
いう

井させたくない時は
元に戻すという意味の
ナチュラルを付けます

しかもこの調号を
見ればこの曲が
何スケールかが
わかってしまう

でも結局、#が
いくつで
何スケールとか
覚えなくちゃ
いけないだぞ

たしかにそうだが
魔法の言葉
「ファドソレラミシ」
を覚えておけば大丈夫だ

 # 系 ファ Gメジャー スケール	 ファド Dメジャー スケール	 ファドソ Aメジャー スケール	 ファドソレ Eメジャー スケール
...			
 ♭ 系 シ Fメジャー スケール	 シミ Bメジャー スケール	 シラ Eメジャー スケール	 シラレ Aメジャー スケール
...			

そしてド(C)を中心に見れば
#や♭が増えていく
スケールがわかるだろう

→ #

C G D A E B

ファドソレラミシ

F C

← ♭

五線譜に書く
位置も決まって
いるから
注意しよう

ムムム…
よくでき
てるだぞ

Oh~
ベリー
システム
ティツク

曲中で転調する
場合は、その度
調号を書けば良い

でも
先生?

調号の意味は
よくわかったけど、
特にミステリーでも
ないだぞ

……

その小説の犯人は
最初に出てきた
井護士だぞー!

わ~~~~っ ミステリー
の犯人を言うなんて
サイテーだぞ!

大事なことは
最初に出ていると
言いたいようです。

調号のナゾ解き

調号

基本的に楽曲は1つの**キー（Key、調）**でできています。キーとは、その楽曲が何スケールでできているかということです。CメジャースケールとAマイナースケール以外のキーでは#やbの付くすべての音に臨時記号を付けていくことになり、とても見にくくキーもわかりにくいので、段ごとの最初にまとめて記しておきます。この変化記号のことを**調号**と言います。ロックでは曲頭だけに記し、転調した場合はそのつど記すのが一般的です。調号としてまとめてしまうことによって、その音程に臨時記号を付けていなくてもよくなり、メジャースケールでもマイナースケールでも#やbの数が同じものは1つつしかないので、調号を見ればその楽曲のキーがわかるということになります。

1. 調号の順番と位置

調号の#やbは、付ける順番と位置が決まっています。#はファドソレラミシ…、bはシミラレソドファ…の順に増えていきます。

#	ファ ド ソ レ ラ ミ シ							
	Cメジャー Aマイナー	Gメジャー Eマイナー	Dメジャー Bマイナー	Aメジャー F#マイナー	Eメジャー C#マイナー	Bメジャー G#マイナー	F#メジャー D#マイナー	C#メジャー A#マイナー

b	シ ミ ラ レ ソ ド ファ							
	Cメジャー Aマイナー	Fメジャー Dマイナー	Bbメジャー Gマイナー	Ebメジャー Cマイナー	Abメジャー Fマイナー	Dbbメジャー Bbマイナー	Gbbメジャー Ebbマイナー	Cbbメジャー Abbマイナー

★調号は臨時記号と違って、その楽曲を通して有効となります。当然オクターブ違いの音にも有効です。

調号により F# ♯ (臨時記号) により F F (♯ は 1 小節間有効)

オクターブ違うが F# オクターブ違うので F# (オクターブ違いは臨時記号無効) 小節が変わったので調号により F#



説明されるとちょっと難しい感じがするかもしれないが、譜面を読む時や自分で作曲したメロディーやコードを譜面におこす時など、知っていると非常に便利なので覚えておいて損はない。覚えなくても、上記の表を後生大事にとっておくことをオススメする。

2. 転調

キーが曲の中で変わることが転調と言います。転調する場合はそのつど譜面に調号が記され、複縦線で区切られます。＃や♭が付かないCメジャースケールやAマイナースケールに転調する時は、♮（ナチュラル）が記されます。



Gメジャースケール → Aメジャースケールに転調



Gメジャースケール → Cメジャースケールに転調



転調は楽曲の幅を広げるアレンジの有効な手段の1つだ。一時的に無理のない転調をさせていたり、高揚感を出すため突然転調したり…、なにげなく聴いている曲も実は転調のおかげで名曲になっている場合もある。たくさん曲をコピーして名曲のメロディーとコード進行のヒミツを探ってみよう！

3. 移調

その楽曲本来のキーを変えることを移調と言います。主にボーカリストの音域やリード（主旋律）を演奏する楽器の音域に合わせて変更されます。

原曲キー＝Cメジャースケール



Dメジャースケールに移調



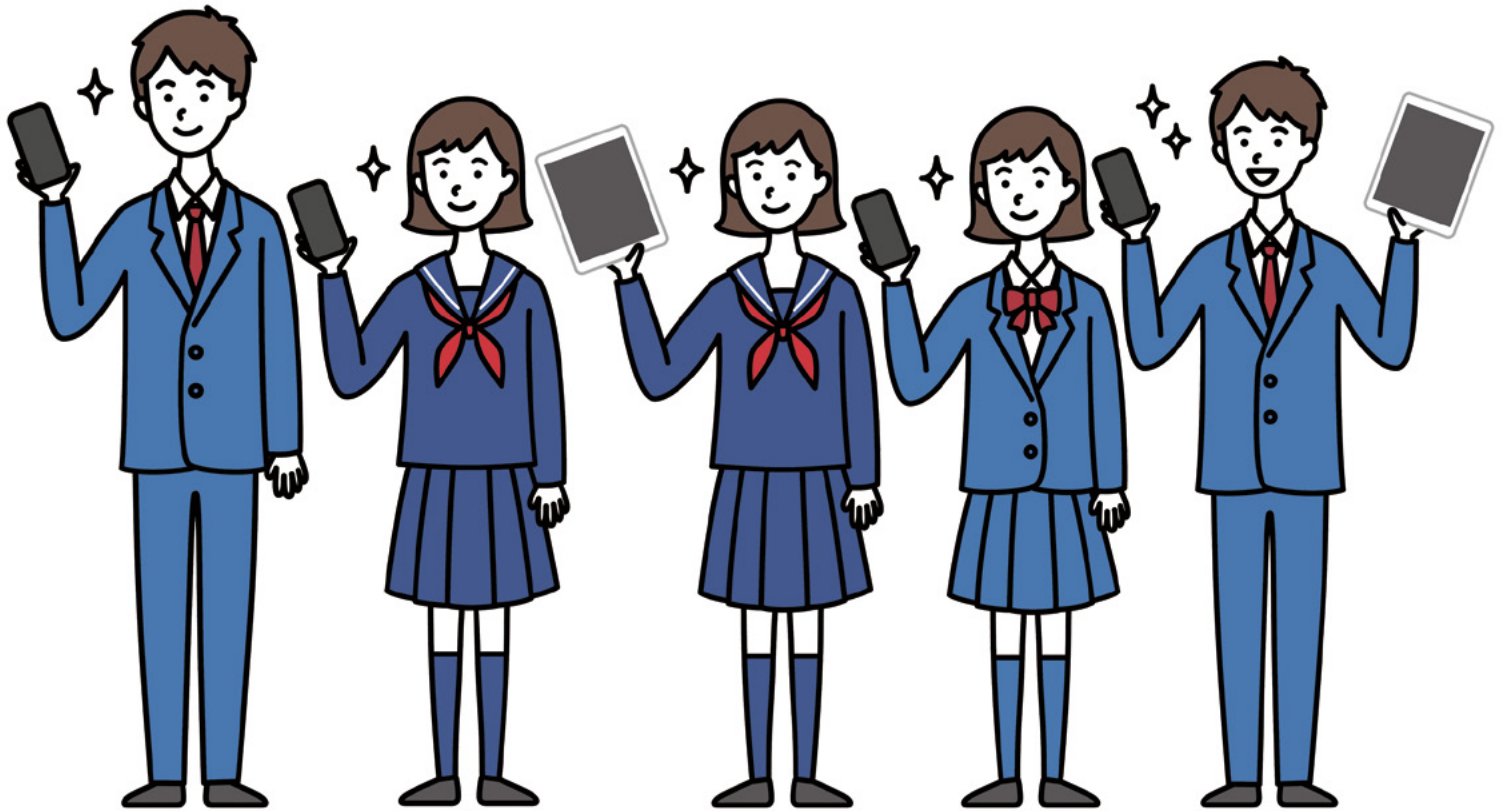
カラオケで+1とか-1とかするやつが「移調」だ。楽曲はボーカリストそれぞれの音域に合わせてキーを決めている。バンドでコピーする場合もボーカリストが歌いにくければ移調しよう。自分の得意な音域で歌うのが一番で、原曲キーで歌えることがエライ！というのは間違った感覚だ。しかし、ギターなどの弾き方や響きも変わってくるのでバンドでよく話し合おう！

他者に学ぶ

YouTube



全国学校軽音楽部協会主催の大会出場の全**426**バンドの演奏を公開しています。
他校の演奏を見て学び、メンバー同士で意見交換をしましょう。



大会の演奏映像を公開中！

第6回

高等学校軽音楽コンテスト
近畿北陸大会 **20** バンド

第8回

高等学校軽音楽コンテスト
中部大会 **20** バンド

第13回

愛知県高等学校軽音楽大会
27 バンド

第3回

高等学校軽音楽コンテスト
関東大会 **25** バンド
9月末公開



特定非営利活動法人
全国学校軽音楽部協会

keionkyo.org



Twitter



Facebook





バンドはコミュニケーションだ！

軽音楽部は高校生の間で人気の高い部活動です。軽音楽部というと「音楽が好き」や「楽器演奏が楽しい」といった点が注目されますが、それだけではありません。バンドに大切なのは**コミュニケーション**と**クリエイティビティ**と**チームワーク**と**エンターテインメント**です。軽音楽部は社会に出てから必要とされるこれらの能力を音楽やバンド活動を通して学ぶことができる部活動です。バンド活動はメンバー同士で相談しないと何も進みません。軽音楽部での活動を通して、自分の意見を伝えたり、相手の意見を聞くことで「コミュニケーション力」や「協調性」を育むことができます。